

令和元年度
川西市
まちなか滞留・実感調査
実施報告書

令和2年1月

本編目次

- 【1】 調査の概要
- 【2】 回答者の属性
- 【3】 集計結果及び分析
- 【4】 調査分析と提案

資料編

調査票

【1】 調査の概要

- (1) 調査対象：調査地点（川西能勢口周辺）を訪れていた人
- (2) 調査方法：聞き取りによるアンケート調査
- (3) 調査の実施状況：回収数（N）=428 件
- (4) 調査時期
令和元年 11 月 17 日（日）、18 日（月）いずれも 9：00～20：00

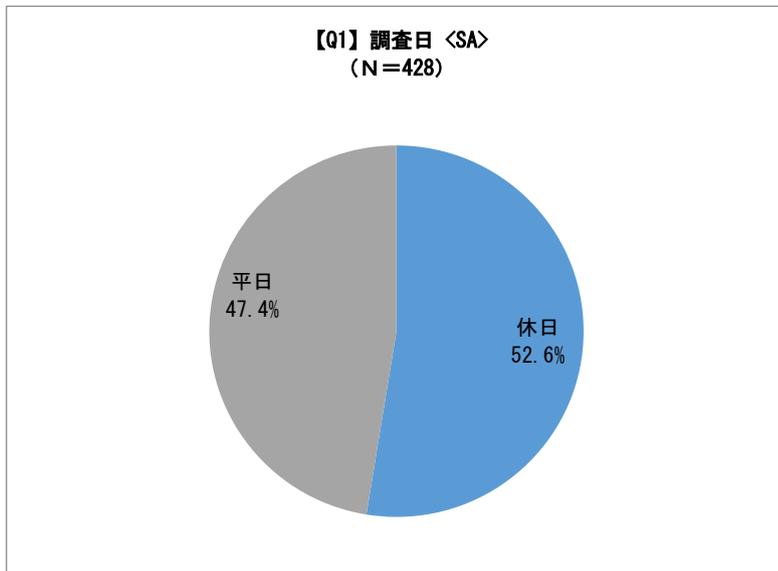
(5) 表、グラフについて

「N=」は、当該質問の回答者数を表しており、割合を算出する際の母数である。なお、集計にあたっては、小数点第 2 位以下を四捨五入しているため、割合の合計は必ずしも 100%にならない場合もある。また、複数回答の質問では、割合の合計は 100%を超える。

【2】 回答者の属性

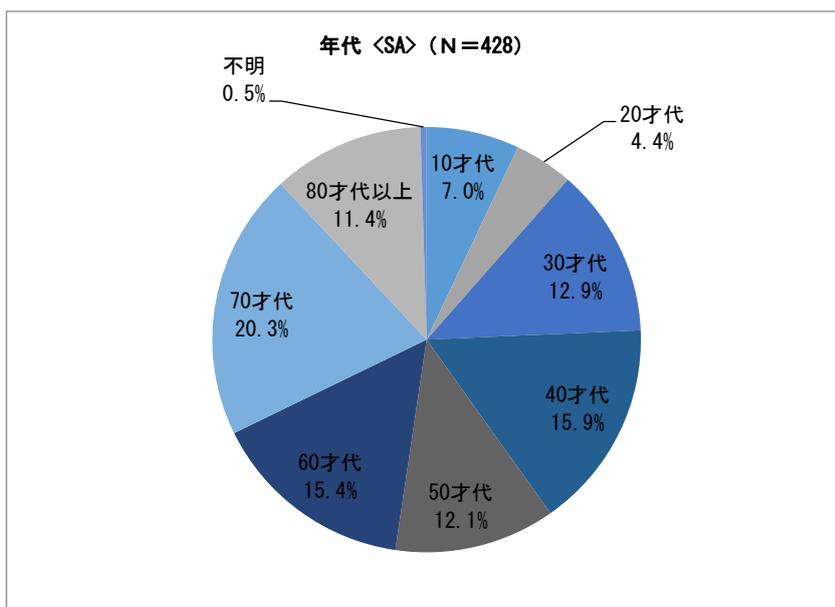
■ 【調査 1】 調査日<SA>

	全 体	休日	平日
件 数	428	225	203
%	100.0	52.6	47.4



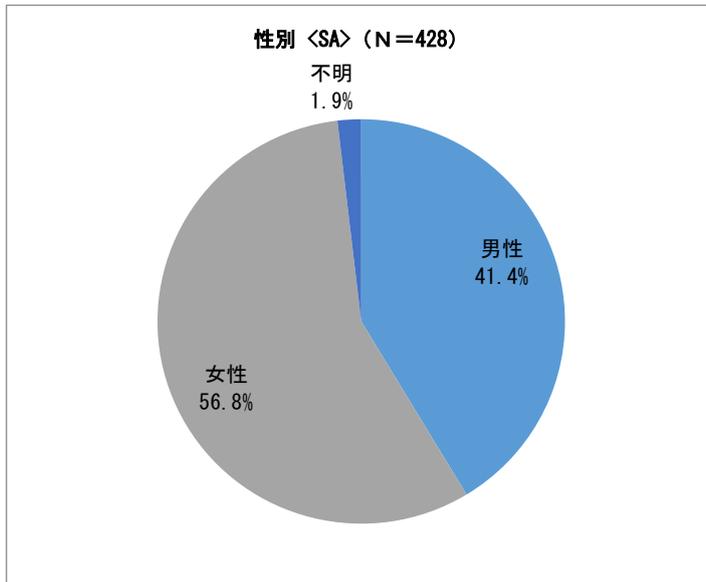
■ 【属性 1】 年代<SA>

	全 体	10才代	20才代	30才代	40才代	50才代	60才代	70才代	80才代以上	不明
件 数	428	30	19	55	68	52	66	87	49	2
%	100.0	7.0	4.4	12.9	15.9	12.1	15.4	20.3	11.4	0.5



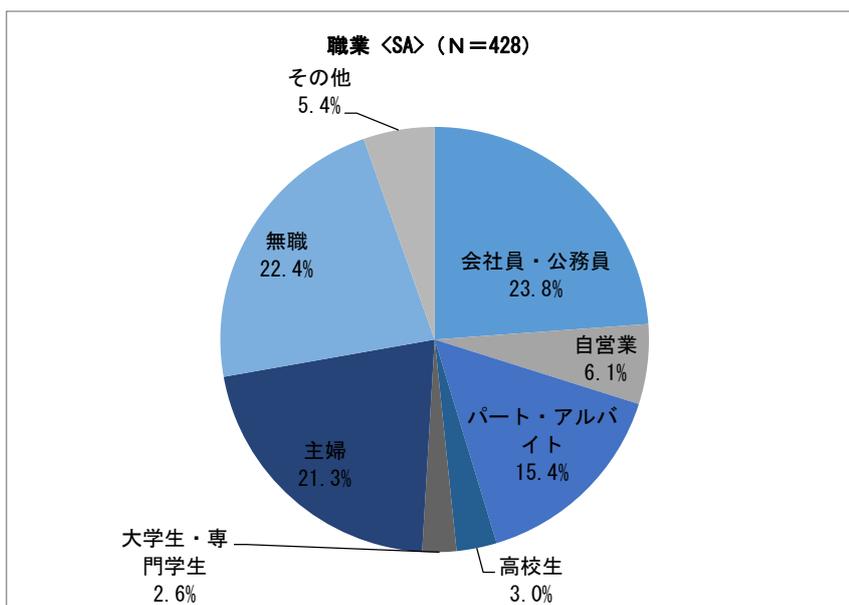
■ 【属性2】性別<SA>

	全 体	男性	女性	不明
件 数	428	177	243	8
%	100.0	41.4	56.8	1.9



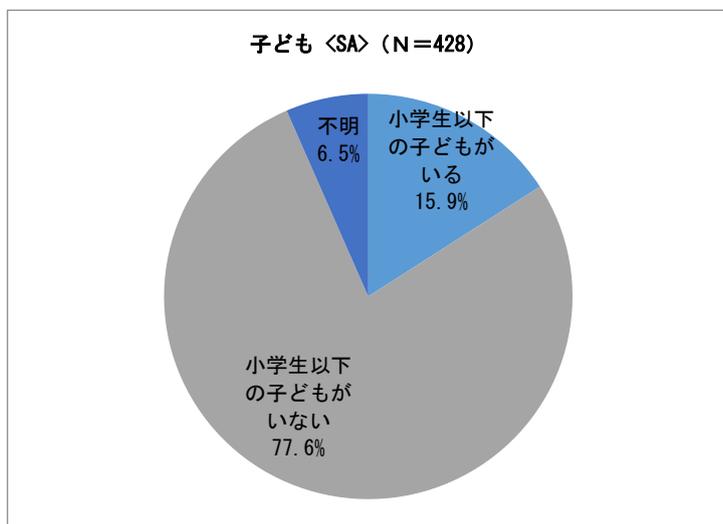
■ 【属性3】職業<SA>

	全 体	会社員・ 公務員	自営業	パート・ア ルバイト	高校生	大学生・専 門学生	主婦	無職	その他
件 数	428	102	26	66	13	11	91	96	23
%	100.0	23.8	6.1	15.4	3.0	2.6	21.3	22.4	5.4



■【属性 4】子ども<SA>

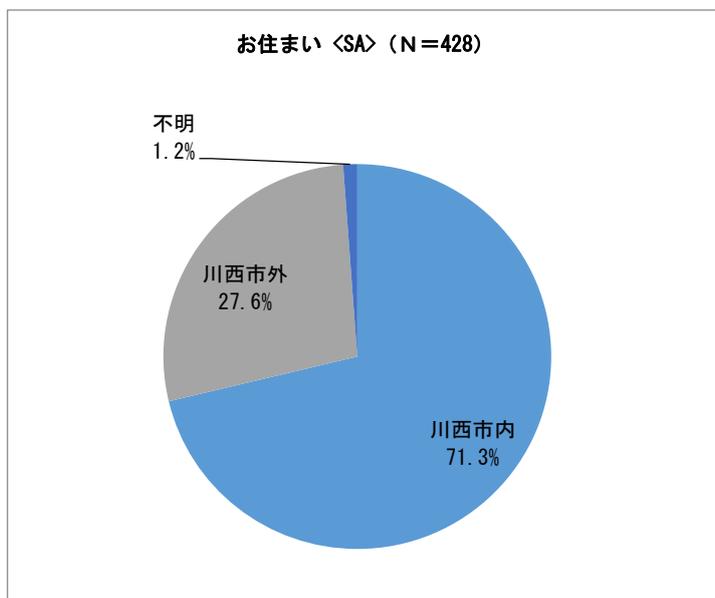
	全 体	小学生以下の 子どもがいる	小学生以下の子 どもがいない	不明
件 数	428	68	332	28
%	100.0	15.9	77.6	6.5



2018年度は「小学生以下の子どもがいない」と答えた人が406件中367件(90.4%)だったが、今年は77.6%に留まった。

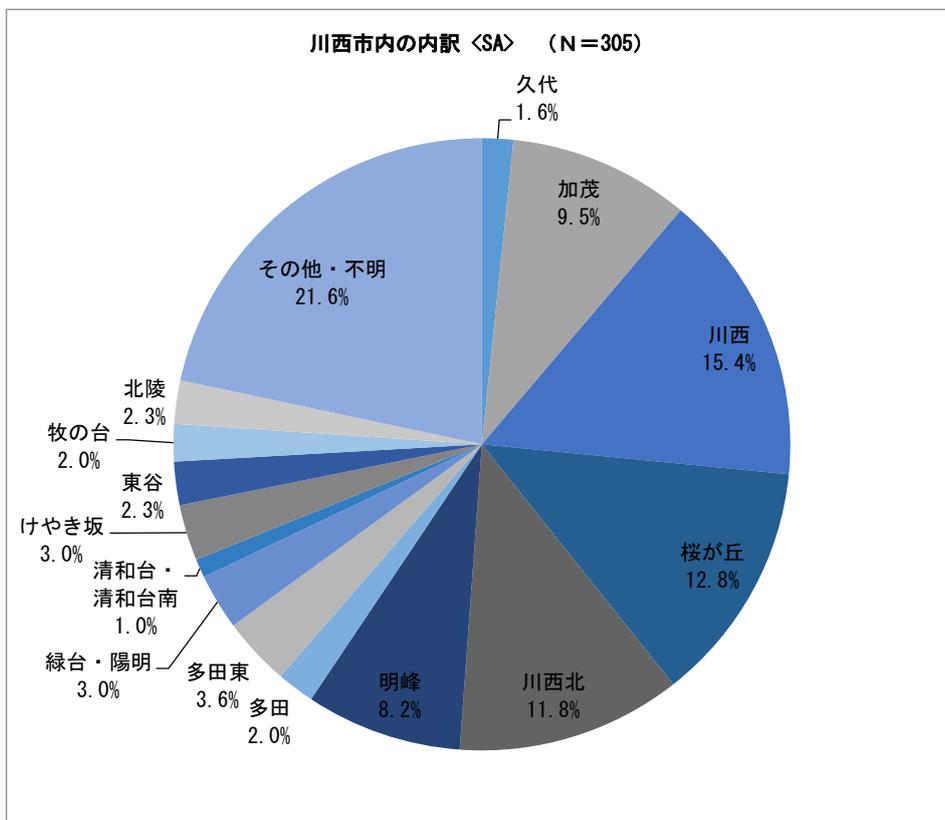
■【属性 5-1】お住まい(川西市内/市外)<SA>

	全 体	川西市内	川西市外	不明
件 数	428	305	118	5
%	100.0	71.3	27.6	1.2



■【属性 5-2】川西市内の内訳<SA>

	全 体	久代	加茂	川西	桜が丘	川西北	明峰	多田
件 数	305	5	29	47	39	36	25	6
%	100.0	1.6	9.5	15.4	12.8	11.8	8.2	2.0
	多田東	緑台・陽明	清和台・清和台南	けやき坂	東谷	牧の台	北陵	その他・不明
件 数	11	9	3	9	7	6	7	66
%	3.6	3.0	1.0	3.0	2.3	2.0	2.3	21.6



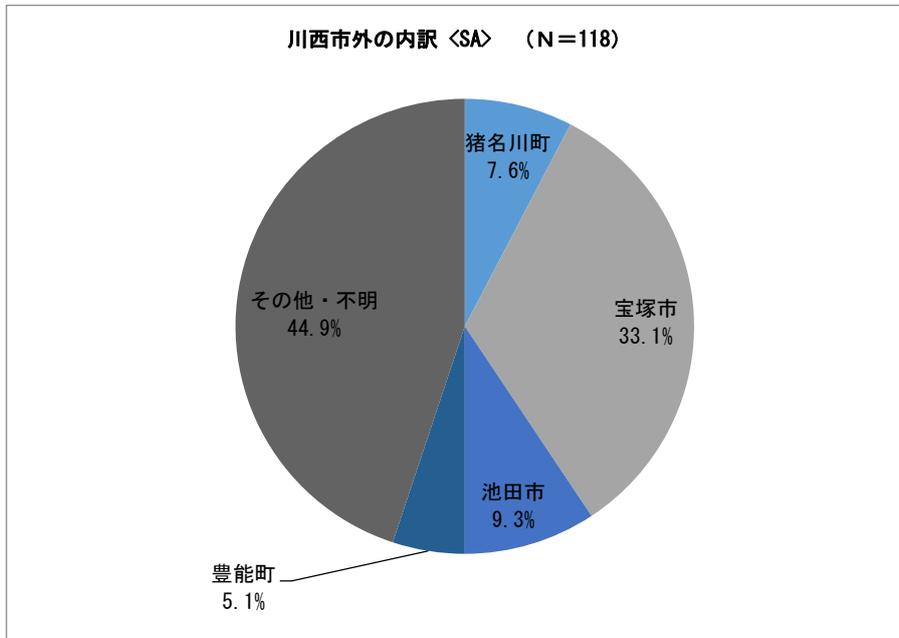
その他の回答 (件数)

- ・栄町 (24)
- ・萩原 (7)
- ・栄根 (4)
- ・東畦野 (4)
- ・滝山 (2)
- ・畦野 (2)
- ・清和台西、西多田、多田院 (各 1)

※丁目が不明の場合はその他に集計している。

■【属性 5-3】川西市外の内訳<SA>

	全 体	猪名川町	宝塚市	池田市	豊能町	その他・不明
件 数	118	9	39	11	6	53
%	100.0	7.6	33.1	9.3	5.1	44.9



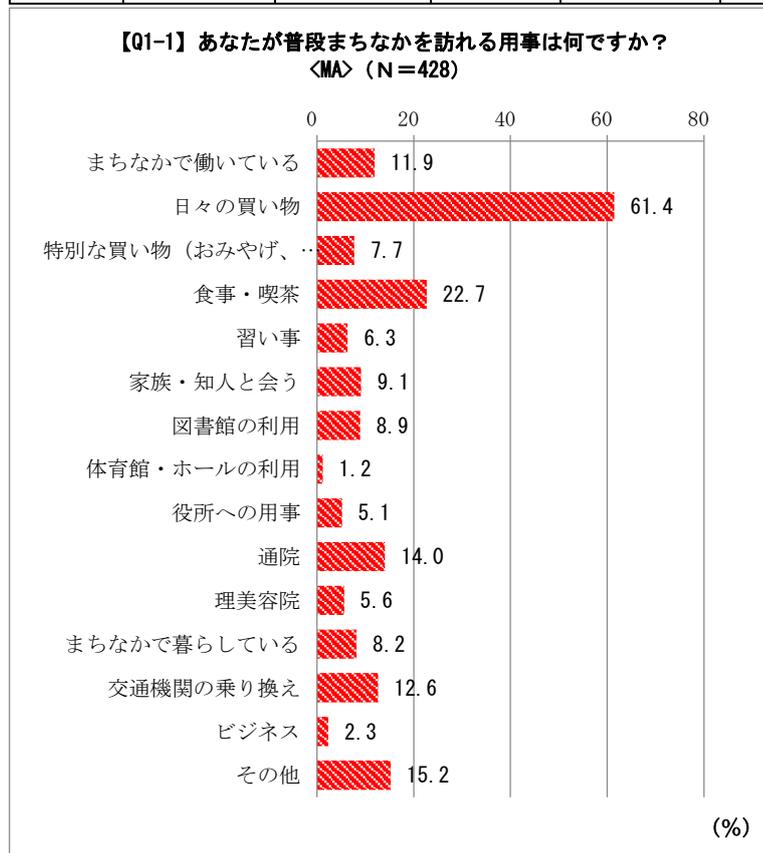
その他の回答 (件数)

- ・大阪市 (9)
- ・豊中市 (7)
- ・伊丹市 (6)
- ・尼崎市 (6)
- ・吹田市 (6)
- ・西宮市 (4)
- ・箕面市 (3)
- ・神戸市 (3)
- ・能勢町 (2)
- ・茨木市、三田市、高砂市、門真市、東京都、和歌山市 (各 1)
- ・不明 (1)

【3】集計結果及び分析

■【Q1-1】あなたが普段まちなかを訪れる用事は何ですか？〈MA〉

		Q1-1-1	Q1-1-2	Q1-1-3	Q1-1-4	Q1-1-5	Q1-1-6	Q1-1-7	
	全体	まちなかで働いている	日々の買い物	特別な買い物（おみやげ、洋服など）	食事・喫茶	習い事	家族・知人と会う	図書館の利用	
件数	428	51	263	33	97	27	39	38	
%	100.0	11.9	61.4	7.7	22.7	6.3	9.1	8.9	
		Q1-1-8	Q1-1-9	Q1-1-10	Q1-1-11	Q1-1-12	Q1-1-13	Q1-1-14	Q1-1-15
	体育館・ホールの利用	役所への用事	通院	理美容院	まちなかで暮らしている	交通機関の乗り換え	ビジネス	その他	
件数	5	22	60	24	35	54	10	36	
%	1.2	5.1	14.0	5.6	8.2	12.6	2.3	8.9	



■その他の回答（件数）

散歩、ウォーキング（11）、学校（7）、通勤（5）、犬の散歩（5）、銀行（5）、お見舞い（3）、遊びにきた（2）、イベント（2）、ボランティア（2）、ドコモショップ（2）、医者、病院（2）、寺参りの帰り、会合、野球、英会話、auショップ、歯医者、アルバイト、幼稚園のお迎え、山登り、柔道、お風呂屋、子どもの作品展、支援、勉強会、生活圏、お迎えの通路、郵便局

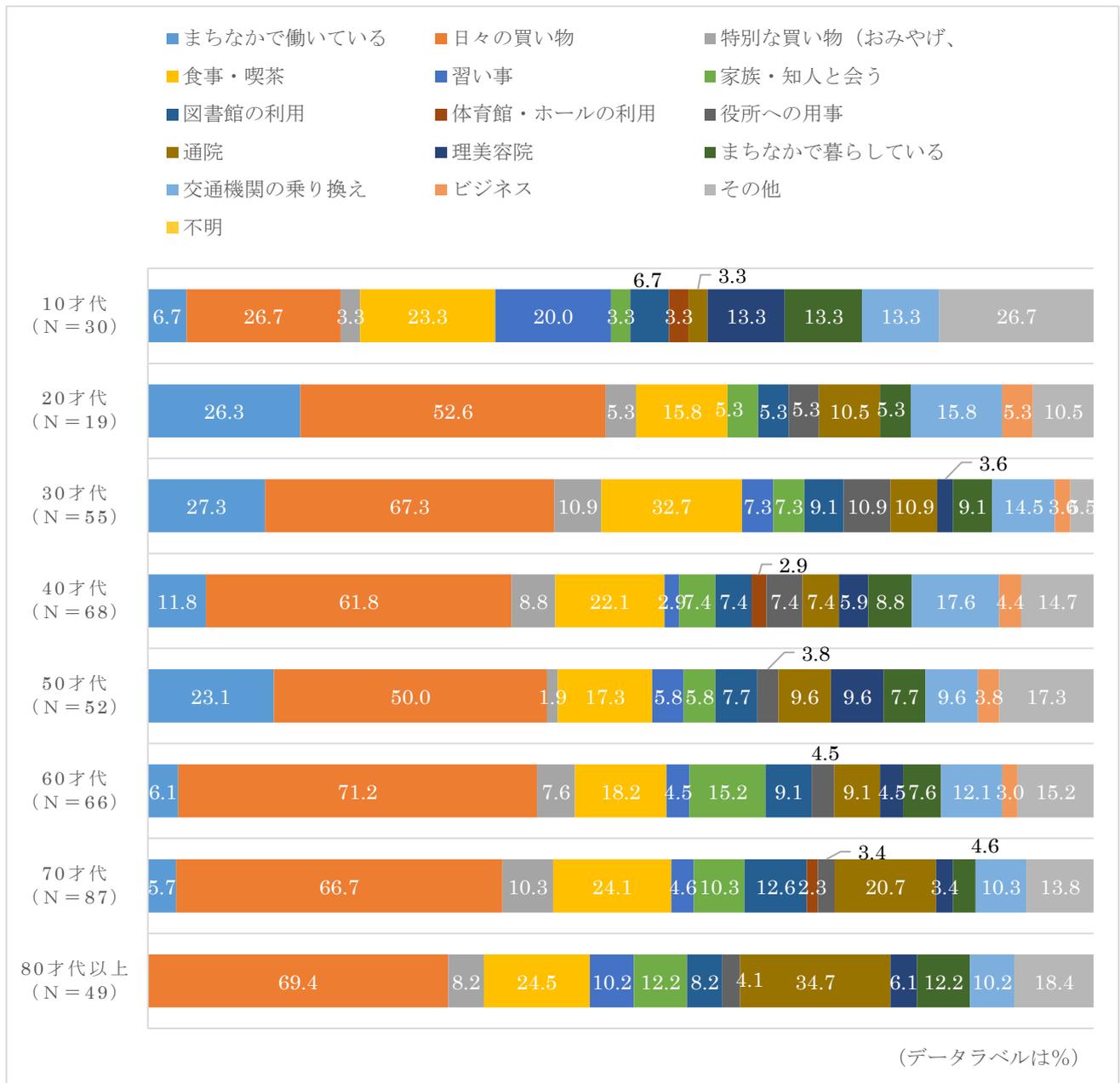
回答者全体で見ると、最も高い来街目的は「日々の買い物」で、61.4%で、実に6割の人が買い物目的でまちなかを訪れている。

次いで多いのは、「食事・喫茶」（22.7%）、「通院」（14.0%）と回答が続いた。

平日と休日で比べると、休日のほうが「日々の買い物」「食事・喫茶」がどちらもポイントが下がっている。

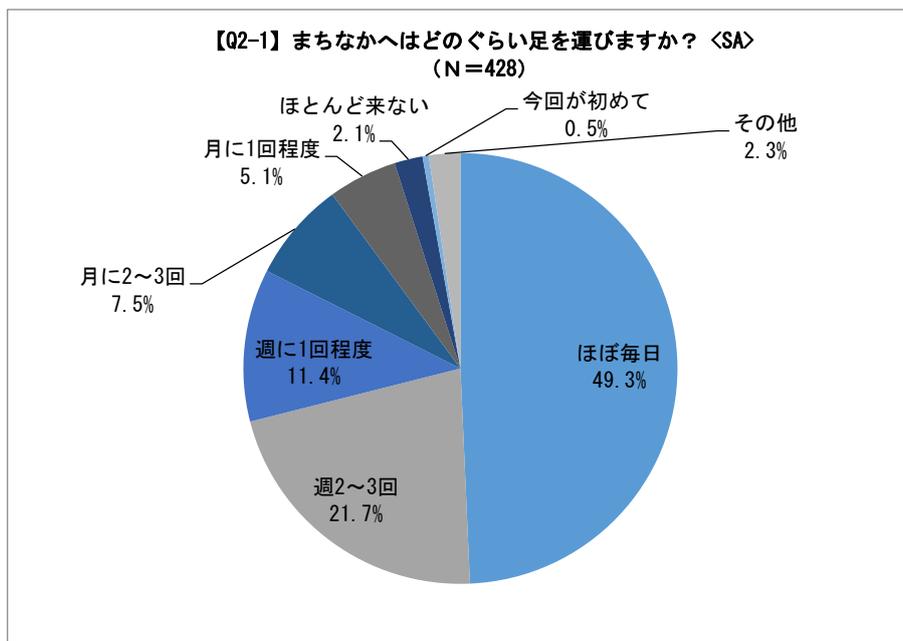
年代別にみると、すべての年代を通して、「日々の買い物」の割合が最も高くなっている。

2018年度と比べると、「食事・喫茶」と答えた人が2018年度は168件（41.4%）だったが、97件（22.7%）と半減している。また「交通機関の乗り換え」と答えた人は90件（22.2%）から54件（12.6%）と減少した。



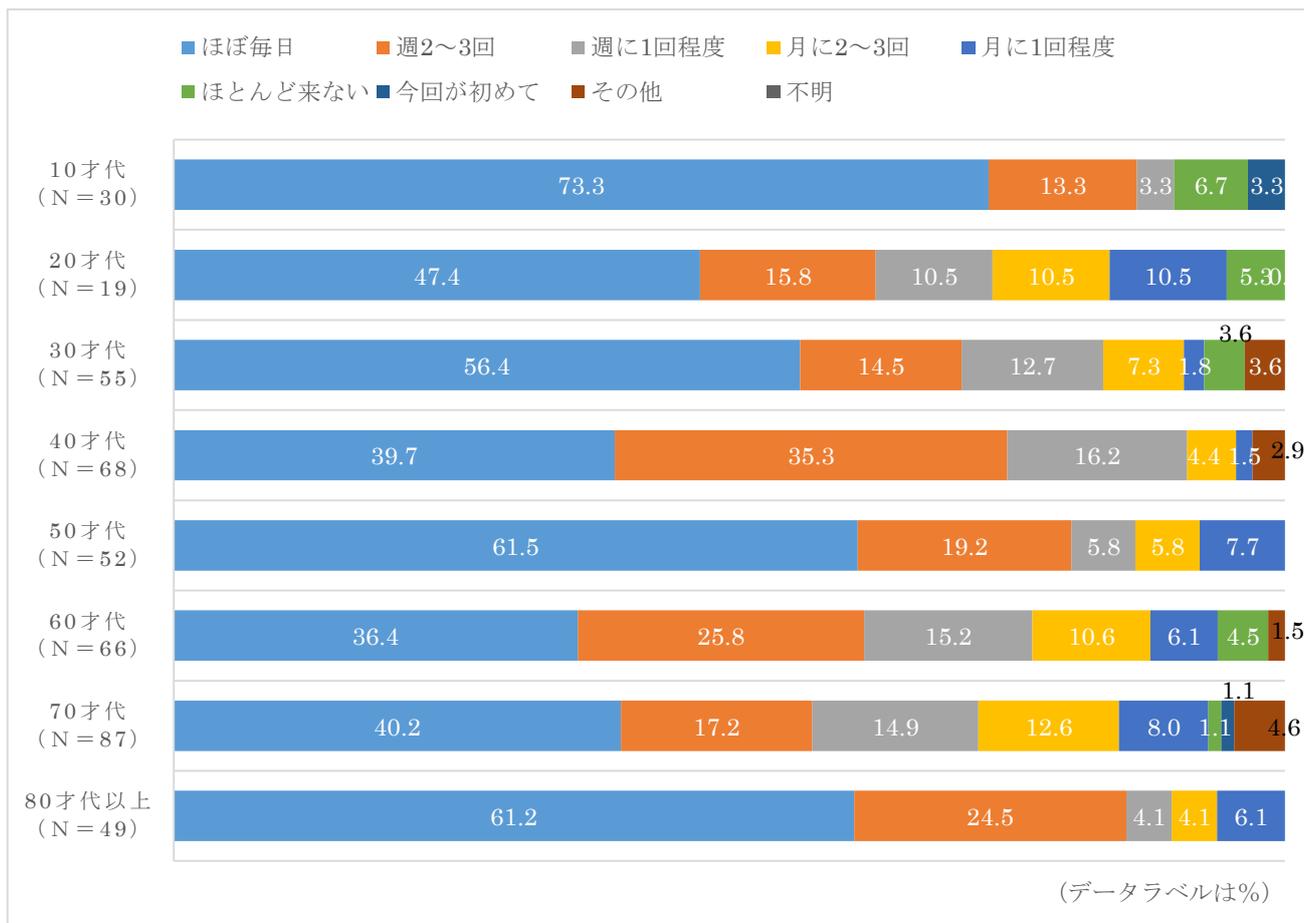
■【Q2-1】 まちなかへはどのくらい足を運びますか？ <SA>

		Q2-1-1	Q2-1-2	Q2-1-3	Q2-1-4	Q2-1-5	Q2-1-6	Q2-1-7	Q2-1-8
	全 体	ほぼ毎日	週 2～3 回	週に 1 回 程度	月に 2～ 3 回	月に 1 回 程度	ほとんど 来ない	今回が初 めて	その他
件 数	428	211	93	49	32	22	9	2	10
%	100.0	49.3	21.7	11.4	7.5	5.1	2.1	0.5	2.3



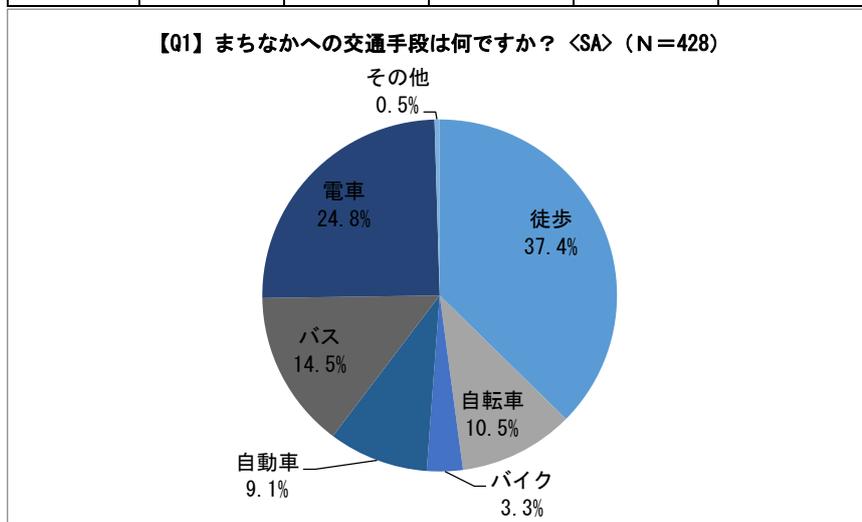
「ほぼ毎日」の回答が49.3%で一番多く、二番目に多いのは、「週2～3回」（21.7%）となった。「ほぼ毎日」、「週2～3回」を合わせた割合は70.9%となった。

「ほぼ毎日」「週2～3回」「週に1回程度」を合わせた週1回以上の回答は、40才代91.2%が一番多いが、60才代（87.4%）、70才代（72.3%）、80才代（89.8%）においても、いずれも7割を超えており、日常的に高齢者も多く来街していることが伺える。



■ 【Q3-1】 まちなかへの交通手段は何ですか？ <SA>

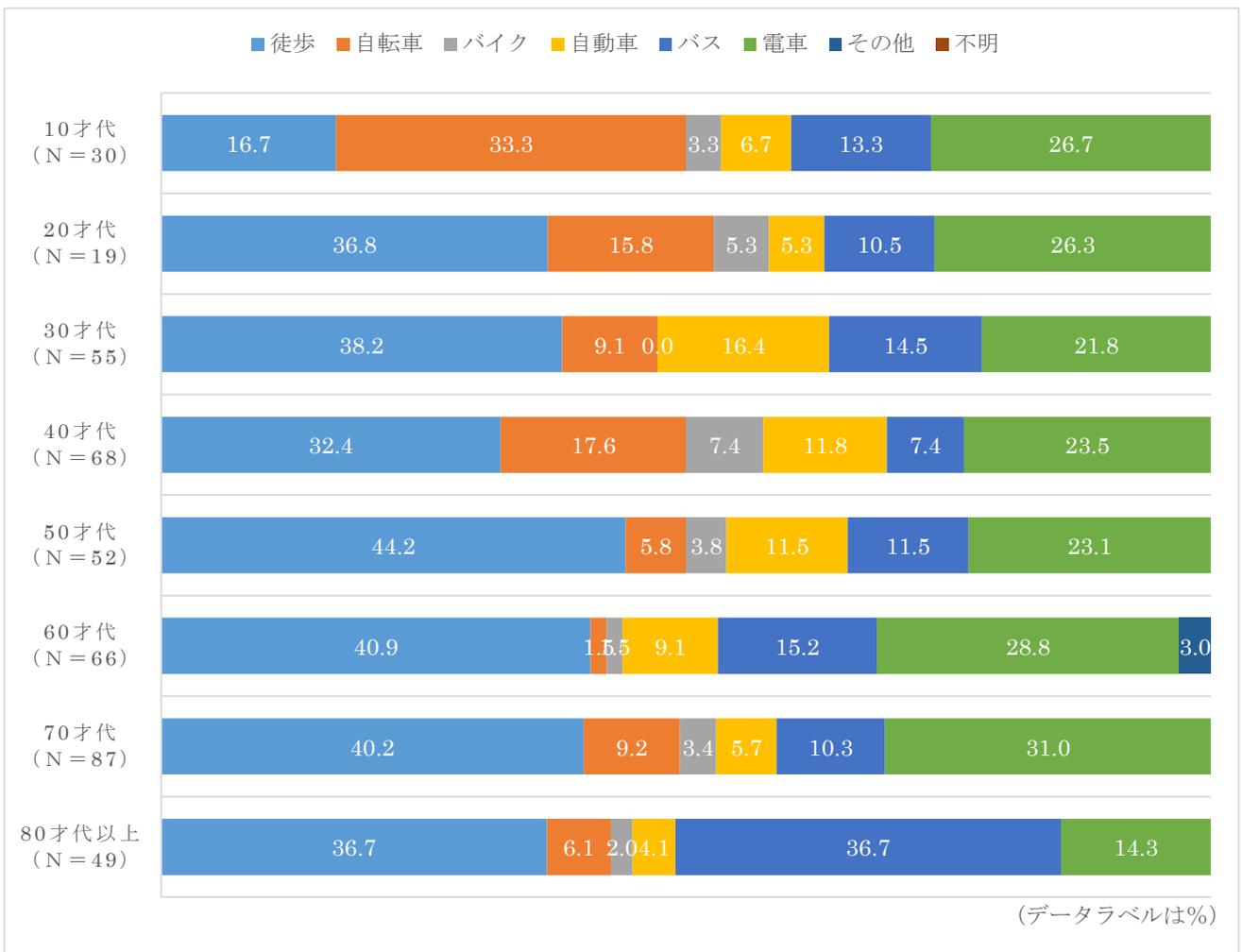
	全体	Q3-1-1	Q3-1-2	Q3-1-3	Q3-1-4	Q3-1-5	Q3-1-6	Q3-1-7
		徒歩	自転車	バイク	自動車	バス	電車	その他
件数	428	160	45	14	39	62	106	2
%	100.0	37.4	10.5	3.3	9.1	14.5	24.8	0.5



交通手段については、「徒歩」が37.4%と最も多い。次に多いのは「電車」24.8%となった。

「小学生以下の子どもの有無」で比較すると、「小学生以下の子どもがいる」人のうち「自動車」(16.2%)と答えた人は「小学生以下の子どもがいない」人よりも8.7%多くなった。回答者全体では、「自動車」は9.1%にとどまることから、小さい子どもを持つ家庭の高い自動車利用が分かる。

2018年度と比べると、「徒歩」は94件(23.2%)から160件(37.4%)に増加。一方で「電車」は155件(38.2%)から106件(24.8%)に減少した。

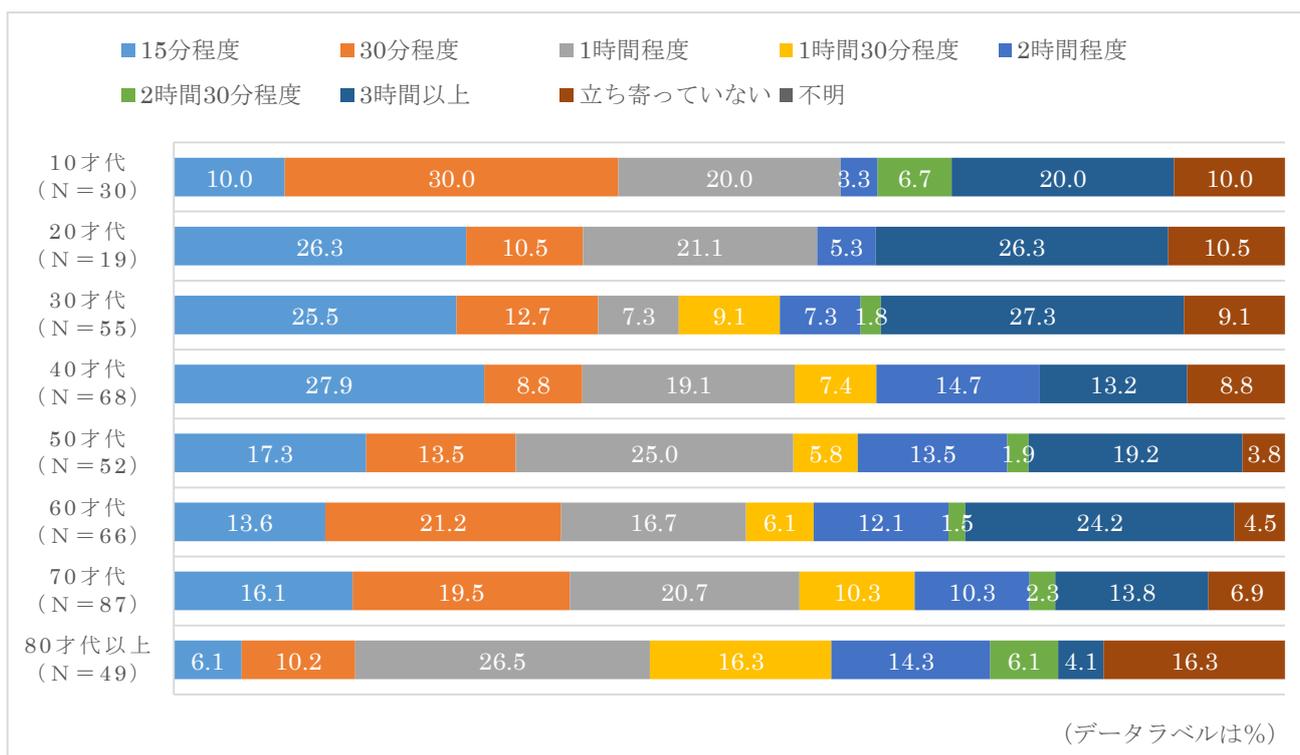


■【Q4-1】川西能勢口駅周辺 <SA>

		Q4-1-1	Q4-1-2	Q4-1-3	Q4-1-4	Q4-1-5	Q4-1-6	Q4-1-7	Q4-1-8
	全 体	15分程度	30分程度	1時間程度	1時間30分程度	2時間程度	2時間30分程度	3時間以上	立ち寄っていない
件数	428	76	67	82	34	47	10	75	37
%	100.0	17.8	15.7	19.2	7.9	11.0	2.3	17.5	8.6

	平日	休日	全体(人)	平日	休日	全体	時間	平日	休日	全体
1. 15分程度	29	47	76	16%	22%	19%	0.25	0.040055	0.05622	0.048718
2. 30分程度	30	37	67	17%	18%	17%	0.5	0.082873	0.088517	0.085897
3. 1時間程度	45	37	82	25%	18%	21%	1	0.248619	0.177033	0.210256
4. 1時間30分程度	13	21	34	7%	10%	9%	1.5	0.107735	0.150718	0.130769
5. 2時間程度	27	19	46	15%	9%	12%	2	0.298343	0.181818	0.235897
6. 2時間30分程度	5	5	10	3%	2%	3%	2.5	0.069061	0.059809	0.064103
7. 3時間以上	32	43	75	18%	21%	19%	6	1.060773	1.23445	1.153846
無回答	0	0	0	0%	0%	0%	2	0	0	0
合計	181	209	390	100%	100%	100%		1.91	1.95	1.93

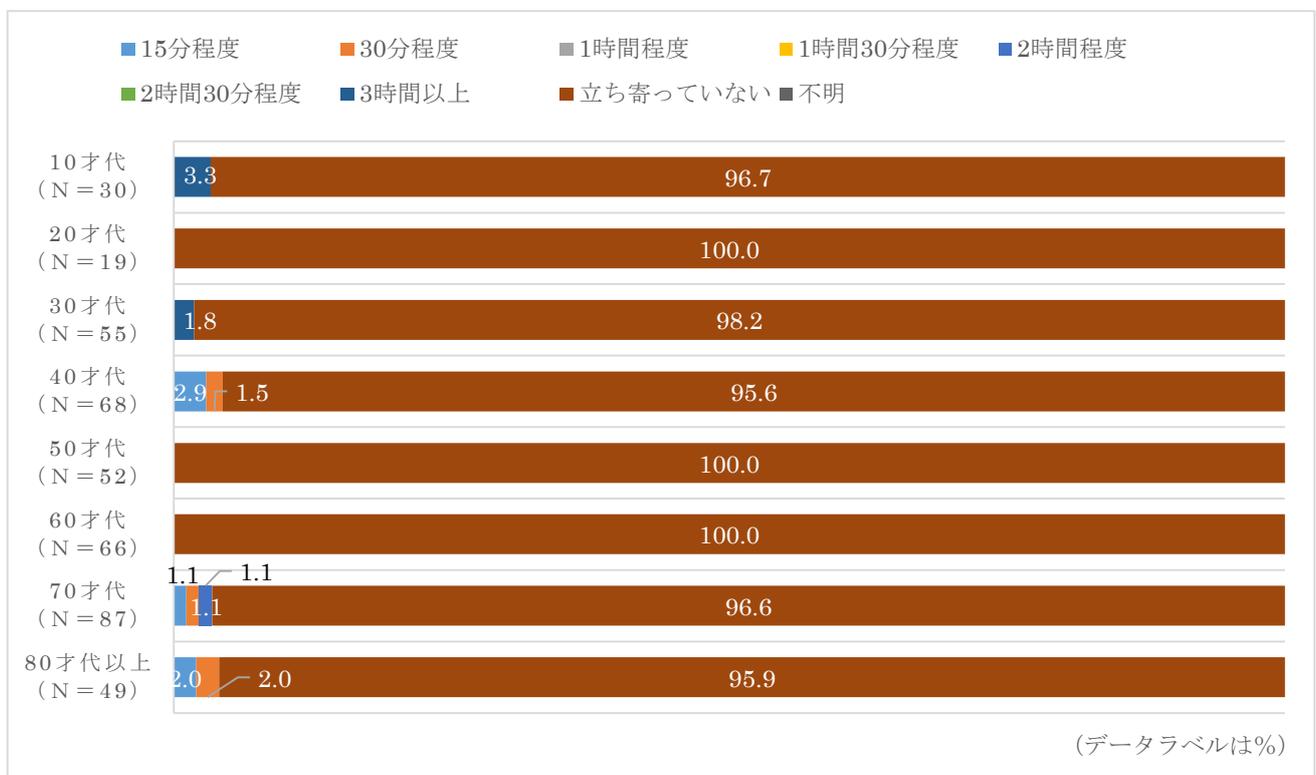
2018年度(2.4時間)と比べて、全体で0.47時間減少した。特に「1時間程度」は94件(23.2%)から32件(19.2%)となった。



■ 【Q4-2】 みつなかホール周辺 <SA>

		Q4-2-1	Q4-2-2	Q4-2-3	Q4-2-4	Q4-2-5	Q4-2-6	Q4-2-7	Q4-2-8
	全 体	15 分程度	30 分程度	1 時間程度	1 時間 30 分程度	2 時間程度	2 時間 30 分程度	3 時間以上	立ち寄っていない
件 数	428	4	3	0	0	1	0	2	418
%	100.0	0.2	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	1.2	98.0

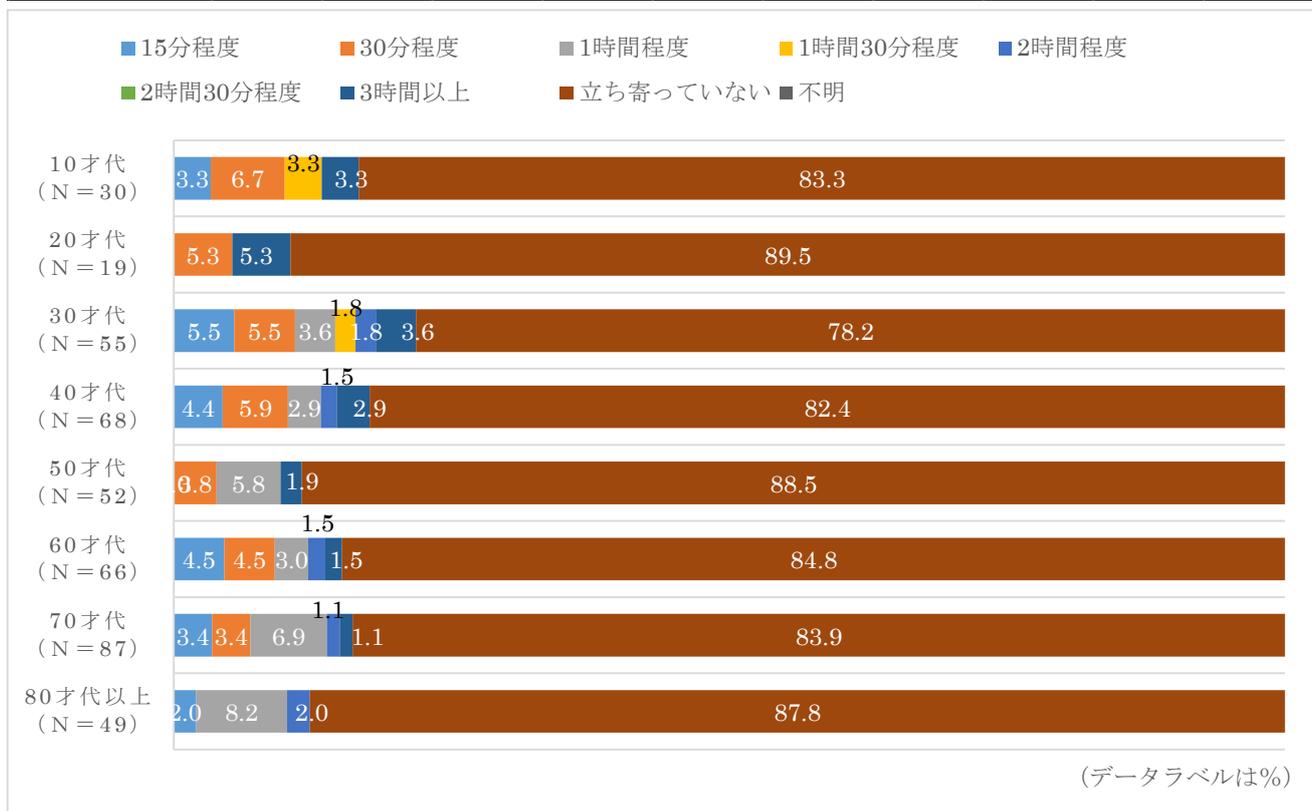
	平日	休日	全体(人)	平日	休日	全体	時間	平日	休日	全体
1. 15分程度	1	3	4	1%	1%	1%	0.25	0.001381	0.003589	0.002564
2. 30分程度	1	2	3	1%	1%	1%	0.5	0.002762	0.004785	0.003846
3. 1時間程度	0	0	0	0%	0%	0%	1	0	0	0
4. 1時間30分程度	0	0	0	0%	0%	0%	1.5	0	0	0
5. 2時間程度	0	1	1	0%	0%	0%	2	0	0.009569	0.005128
6. 2時間30分程度	0	0	0	0%	0%	0%	2.5	0	0	0
7. 3時間以上	0	2	2	0%	1%	1%	6	0	0.057416	0.030769
無回答	0	0	0	0%	0%	0%	2	0	0	0
合計	2	8	10	1%	4%	3%		0.00	0.08	0.04



■ 【Q4-3】 キセラかわにし (市役所・温水プール周辺) <SA>

		Q4-3-1	Q4-3-2	Q4-3-3	Q4-3-4	Q4-3-5	Q4-3-6	Q4-3-7	Q4-3-8
	全 体	15 分程度	30 分程度	1 時間程度	1 時間 30 分程度	2 時間程度	2 時間 30 分程度	3 時間以上	立ち寄っていない
件 数	428	14	18	19	2	5	0	9	361
%	100.0	3.3	4.2	4.4	0.5	1.2	0.0	2.1	84.3

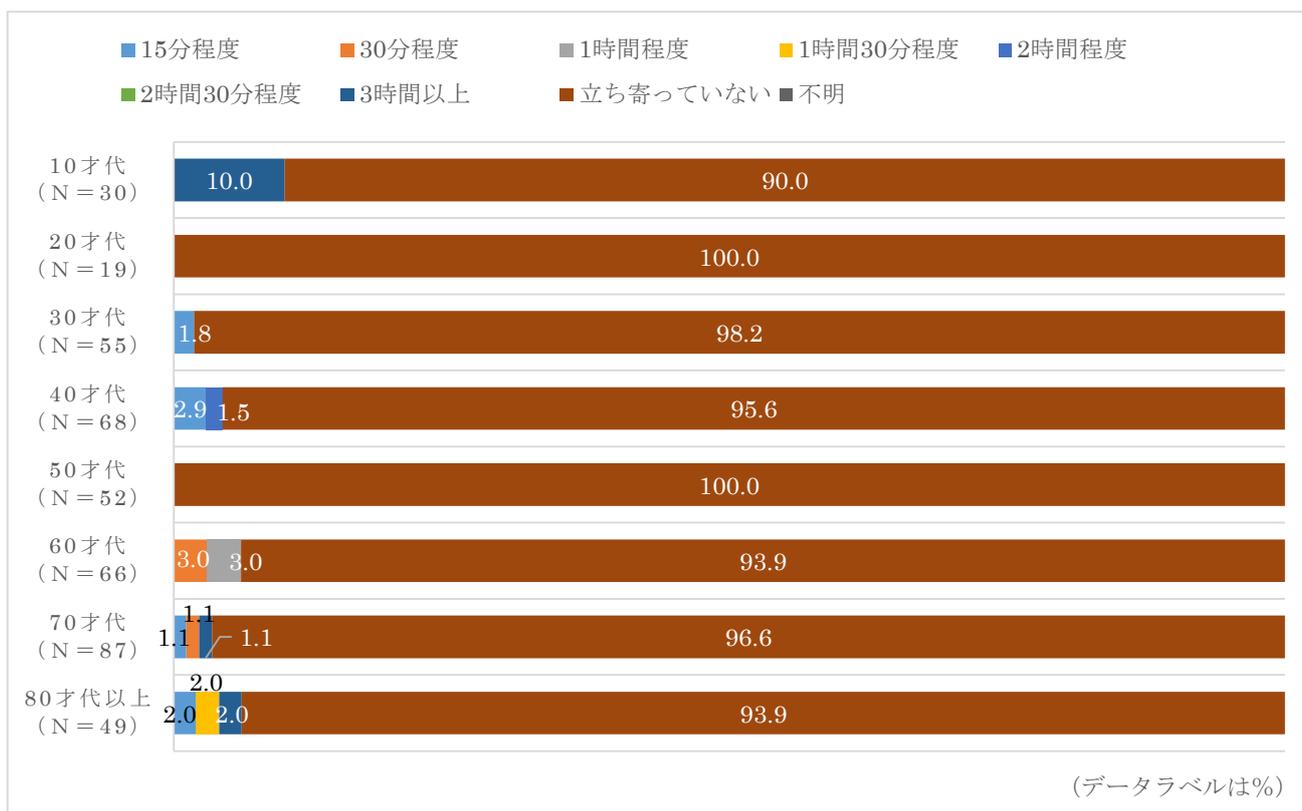
	平日	休日	全体(人)	平日	休日	全体	時間	平日	休日	全体
1. 15分程度	6	8	14	3%	4%	4%	0.25	0.008287	0.009569	0.008974
2. 30分程度	10	8	18	6%	4%	5%	0.5	0.027624	0.019139	0.023077
3. 1時間程度	15	4	19	8%	2%	5%	1	0.082873	0.019139	0.048718
4. 1時間30分程度	1	1	2	1%	0%	1%	1.5	0.008287	0.007177	0.007692
5. 2時間程度	3	2	5	2%	1%	1%	2	0.033149	0.019139	0.025641
6. 2時間30分程度	0	0	0	0%	0%	0%	2.5	0	0	0
7. 3時間以上	1	8	9	1%	4%	2%	6	0.033149	0.229665	0.138462
無回答	0	0	0	0%	0%	0%	2	0	0	0
合計	36	31	67	20%	15%	17%		0.19	0.30	0.25



■ 【Q4-4】 文化会館・総合体育館周辺 <SA>

		Q4-4-1	Q4-4-2	Q4-4-3	Q4-4-4	Q4-4-5	Q4-4-6	Q4-4-7	Q4-4-8
	全 体	15分程度	30分程度	1時間程度	1時間30分程度	2時間程度	2時間30分程度	3時間以上	立ち寄っていない
件数	428	5	3	2	1	1	0	5	411
%	100.0	1.2	0.7	0.5	0.2	0.2	0.0	1.2	96.0

	平日	休日	全体(人)	平日	休日	全体	時間	平日	休日	全体
1. 15分程度	2	3	5	1%	1%	1%	0.25	0.002762	0.003589	0.003205
2. 30分程度	1	2	3	1%	1%	1%	0.5	0.002762	0.004785	0.003846
3. 1時間程度	0	2	2	0%	1%	1%	1	0	0.009569	0.005128
4. 1時間30分程度	1	0	1	1%	0%	0%	1.5	0.008287	0	0.003846
5. 2時間程度	1	0	1	1%	0%	0%	2	0.01105	0	0.005128
6. 2時間30分程度	0	0	0	0%	0%	0%	2.5	0	0	0
7. 3時間以上	1	4	5	1%	2%	1%	6	0.033149	0.114833	0.076923
無回答	0	0	0	0%	0%	0%	2	0	0	0
合計	6	11	17	3%	5%	4%		0.06	0.13	0.10



川西市まちなか平均滞留時間（合計）

	平日	休日	全体
川西能勢口周辺	1.91	1.95	1.93
みつなかホール周辺	0.00	0.08	0.04
キセラかわにし(市役所・温水プール)周辺	0.19	0.30	0.25
文化会館・総合体育館周辺	0.06	0.13	0.10
全体	2.16	2.46	2.32

まちなか全体での平均滞留時間については、全体で2.32時間となった。

年代別にみると、30才代が「3時間以上」と答えた割合が一番多く、27.3%。ほかに2割を超えた年代は、20才代(26.3%)、60才代(24.2%)、10才代(20.0%)となっている。

2018年度は全体で2.77時間だったため昨年度と比べて0.45時間減少した。

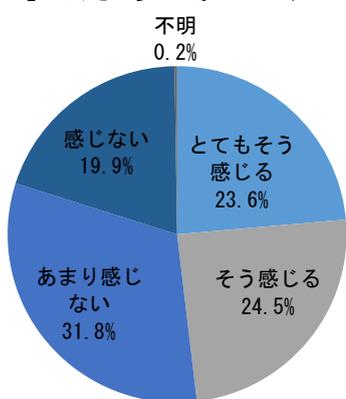
■ 【Q5】 あなたがまちなかで感じたことを◎○△×で教えてください。〈SA〉

まちなかで感じる 10 項目に、◎とてもそう感じる、○そう感じる、△あんまり感じない、×感じないの 4 段階で問うた。

■ 【Q5-1】 たくさん歩いた。〈SA〉

		Q5-1-1	Q5-1-2	Q5-1-3	Q5-1-4
	全 体	とてもそう 感じる	そう感じる	あまり感 じない	感じない
件 数	428	101	105	136	85
%	100.0	23.6	24.5	31.8	19.9

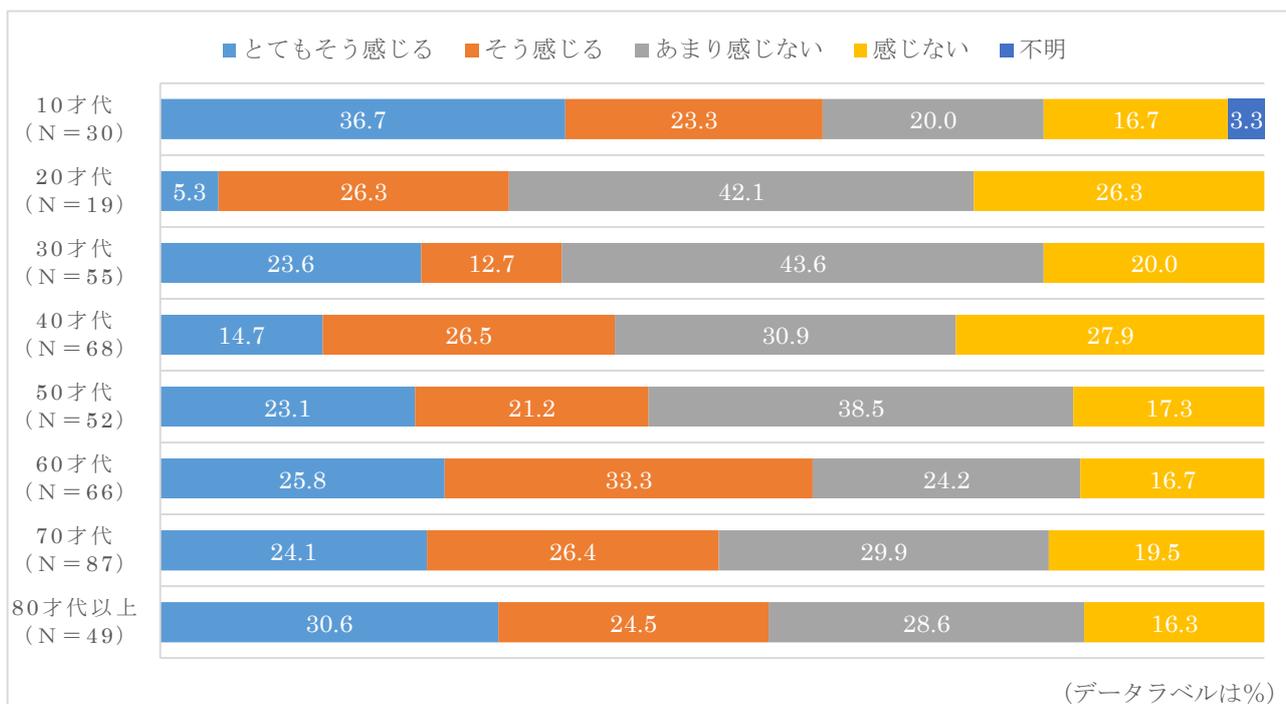
【Q5-1】 たくさん歩いた。〈SA〉 (N=428)



「たくさん歩いた」に関しては、「とてもそう感じる」(23.6%)、「そう感じる」(24.5%)であった。

年代別で見ると、「とてもそう感じる」「そう感じる」を併せた数値(以下「満足値」と示す)が最も高いのは、10才代 60.0%であった。

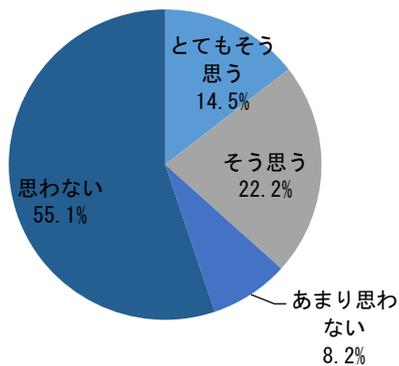
逆に「満足値」が4割以下であった年代は、20~50才代である。その他の年代は、5割以上である。



■ 【Q5-2】 知り合いや友人に出会った。 <SA>

		Q5-3-1	Q5-3-2	Q5-3-3	Q5-3-4
	全 体	とてもそ う思う	そう思う	あまり思 わない	思わない
件 数	428	62	95	35	236
%	100.0	14.5	22.2	8.2	55.1

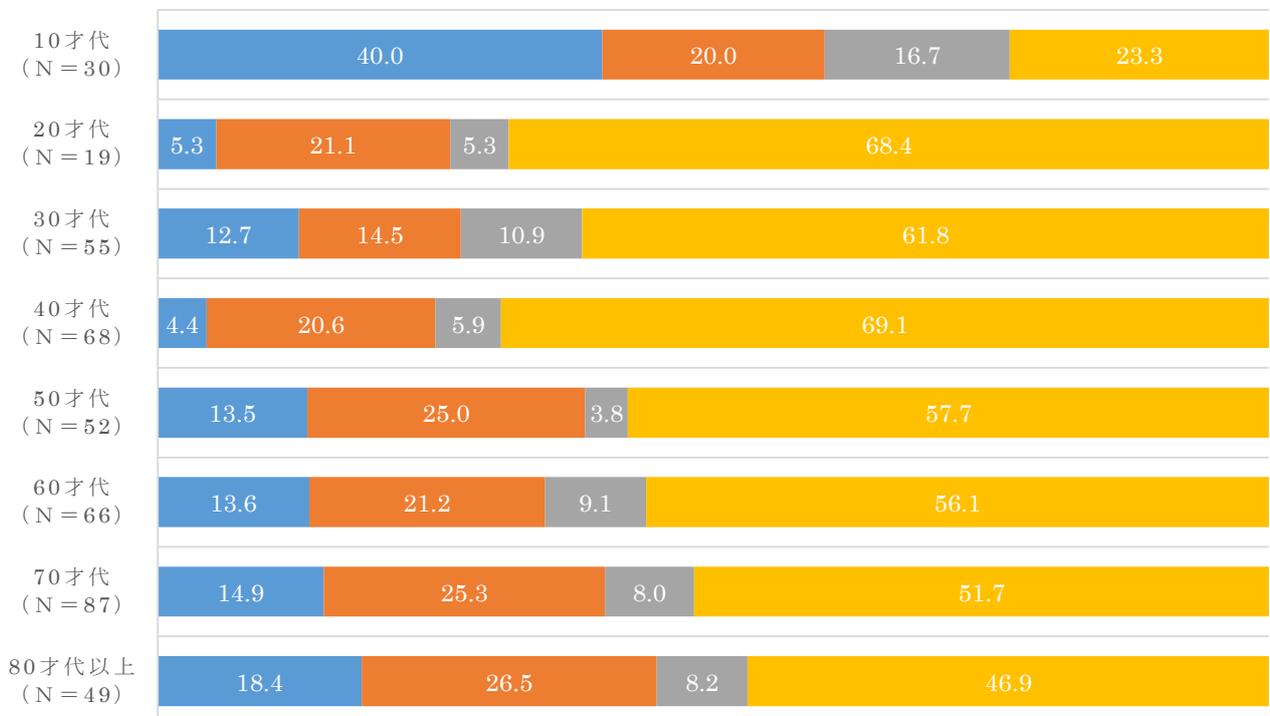
【Q5-2】 知り合いや友人に出会った。 <SA>
(N=428)



「知り合いや友人に出会った」に関しては、「感じない」(55.1%)が高く、次いで「そう感じる」(22.2%)となった。

年代別でみると、「満足値」が最も高いのは、10才代 60.0%であった。一方で20~80才代は「あまり感じない」「感じない」が5割以上となっている。

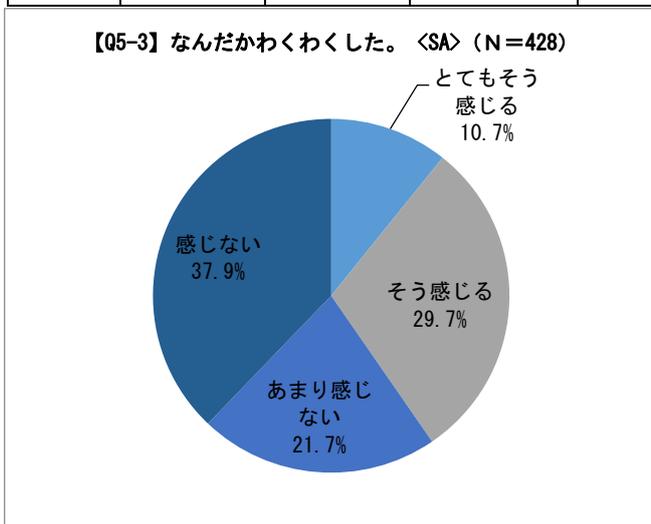
■ とてもそう思う ■ そう思う ■ あまり思わない ■ 思わない ■ 不明



(データラベルは%)

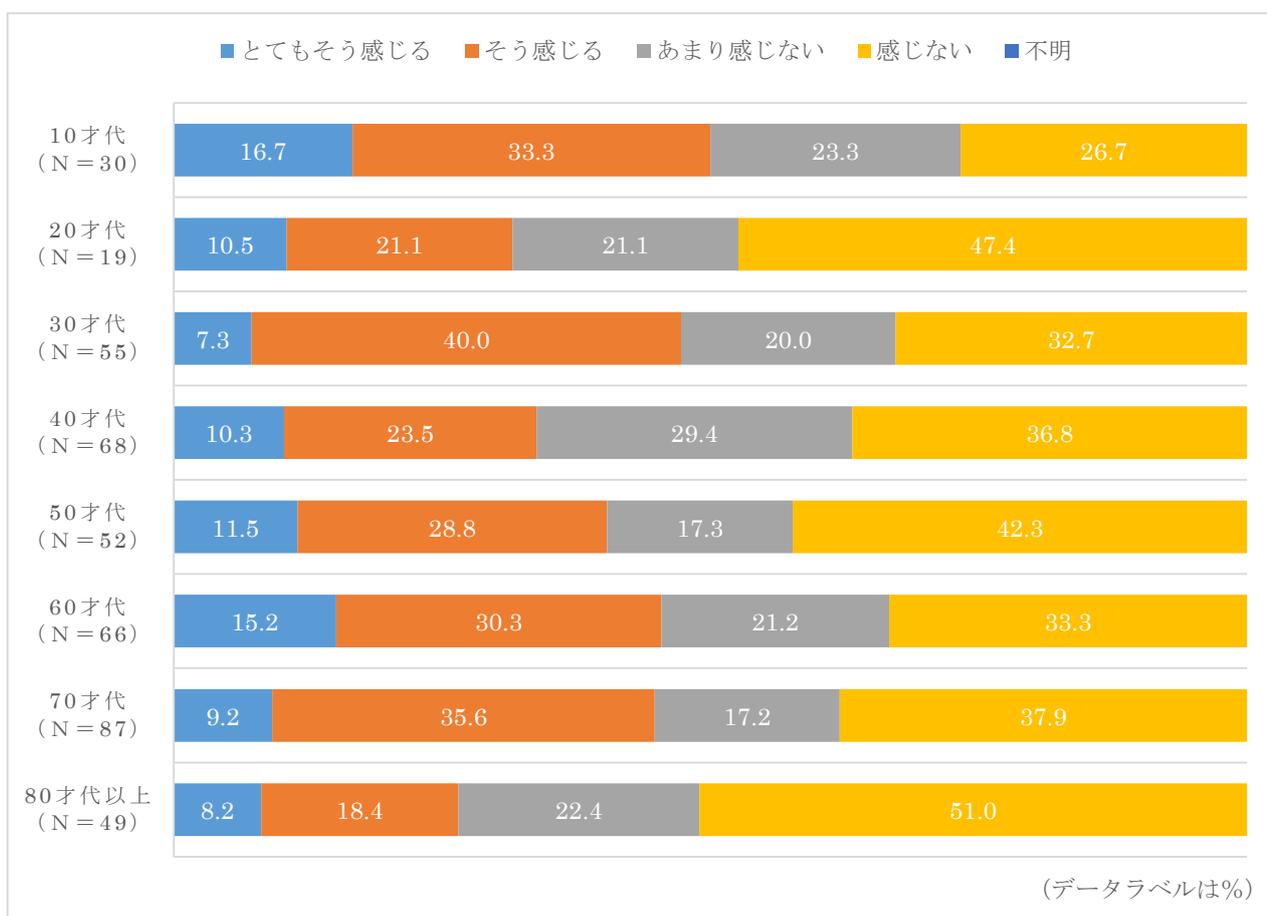
■ 【Q5-3】 なんだかワクワクした。 <SA>

		Q5-5-1	Q5-5-2	Q5-5-3	Q5-5-4
	全 体	とてもそ う感じる	そう感じる	あまり感 じない	感じない
件 数	428	46	127	93	162
%	100.0	10.7	29.7	21.7	37.9



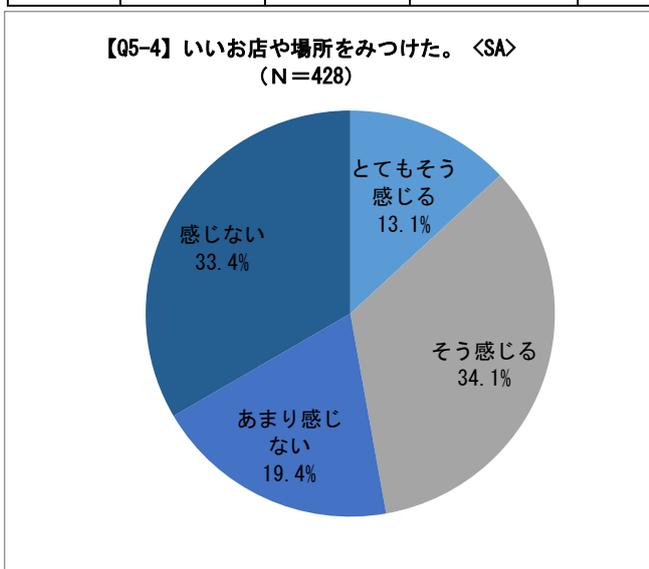
「なんだかワクワクした」は「あまり感じない」「感じない」が59.6%と半数以上となった。

年代別に満足値を見ると、10才代(50.0%)が高く、次いで30才代(47.3%)、60才代(45.5%)となった。



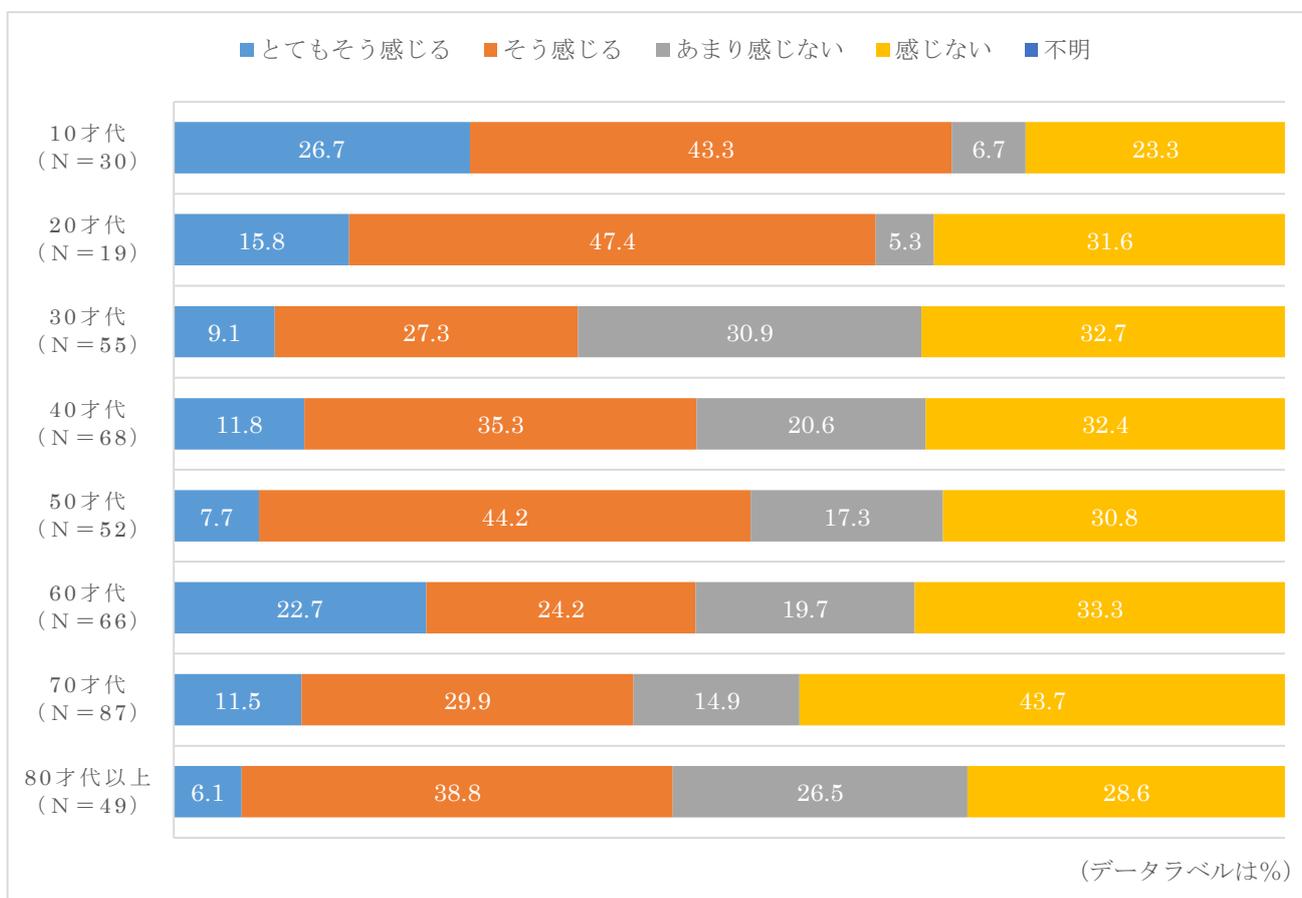
■ 【Q5-4】 いいお店や場所を見つけた。 <SA>

		Q5-5-1	Q5-5-2	Q5-5-3	Q5-5-4
	全 体	とてもそ う感じる	そう感じる	あまり感じ ない	感じない
件 数	428	56	146	83	143
%	100.0	13.1	34.1	19.4	33.4



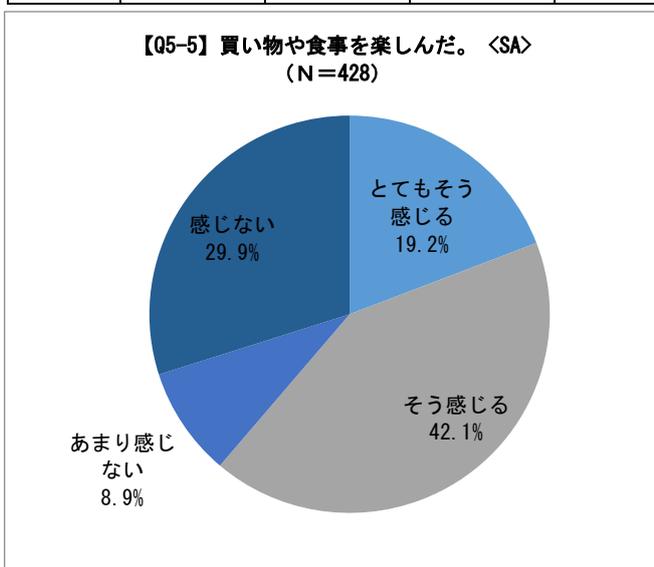
「いいお店や場所を見つけた」の項目では、「そう感じる」が34.1%と一番高く、次いで「感じない」33.4%となった。

年代別に見ると、10才代(70.0%)、20才代は(63.2%)と6割を超えている。一方で30才代は36.4%と3割に留まった。



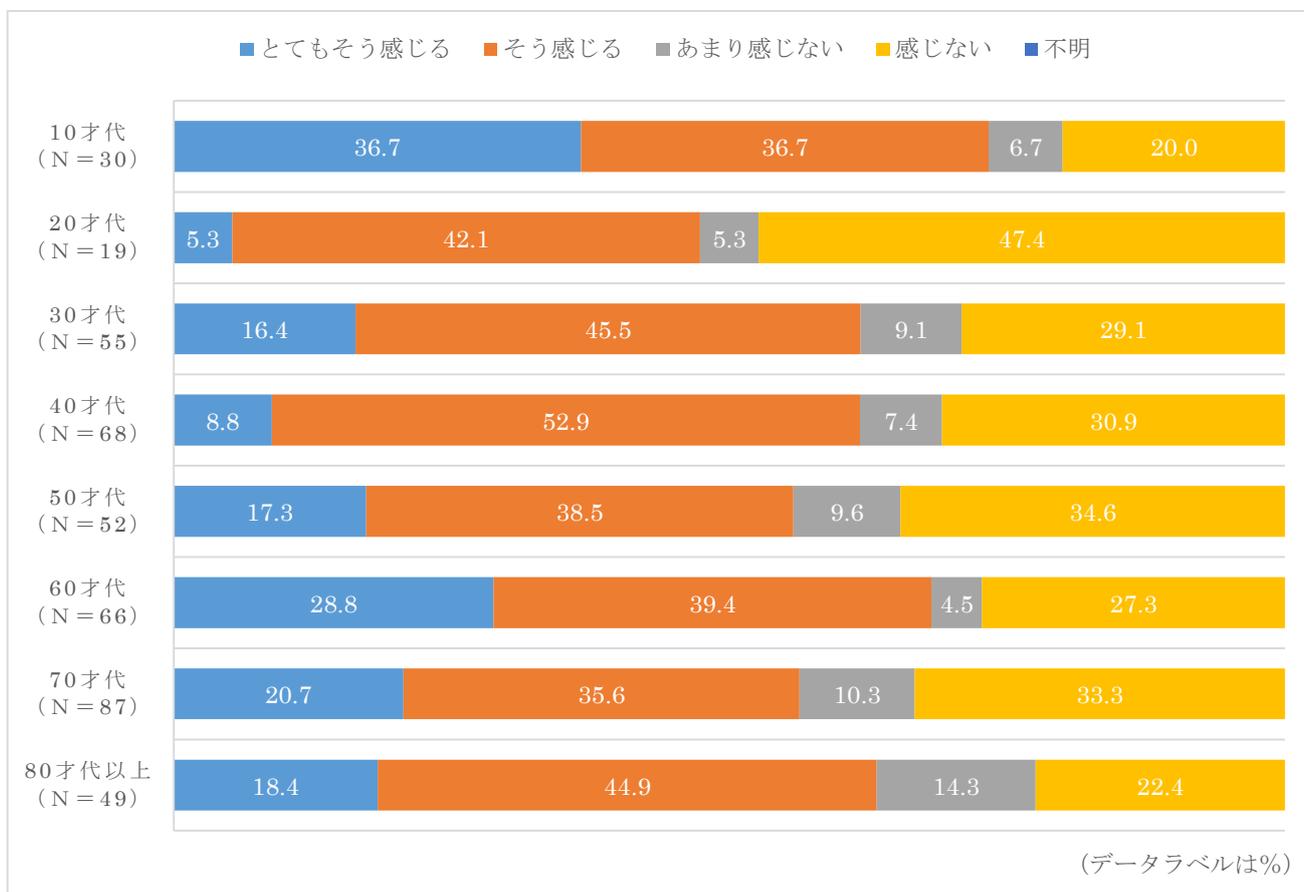
■ 【Q5-5】 買い物や食事を楽しんだ。 <SA>

		Q5-5-1	Q5-5-2	Q5-5-3	Q5-5-4
	全 体	とてもそ う感じる	そう感じ る	あまり感 じない	感じない
件 数	428	82	180	38	128
%	100.0	19.2	42.1	8.9	29.9



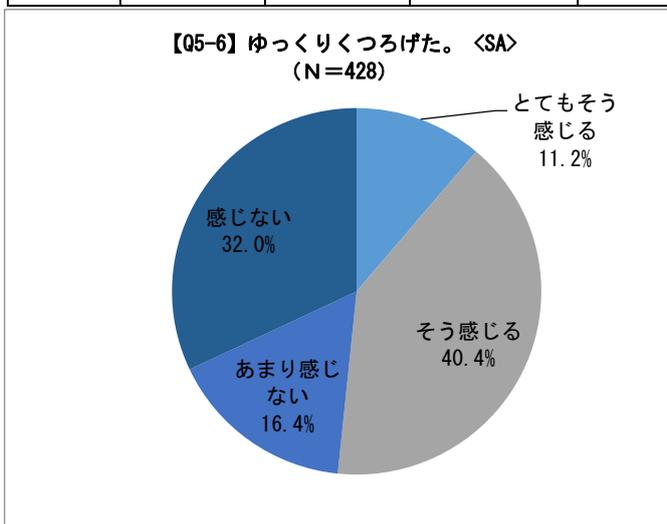
「買い物や食事を楽しんだ」の満足値は61.3%と10項目の中で二番目に高い結果となった。

年代別に満足値を見ると、10才代(73.4%)、60才代(68.2%)、80才代(63.3%)、30才代(61.9%)、40才代(61.7%)が6割以上となった。



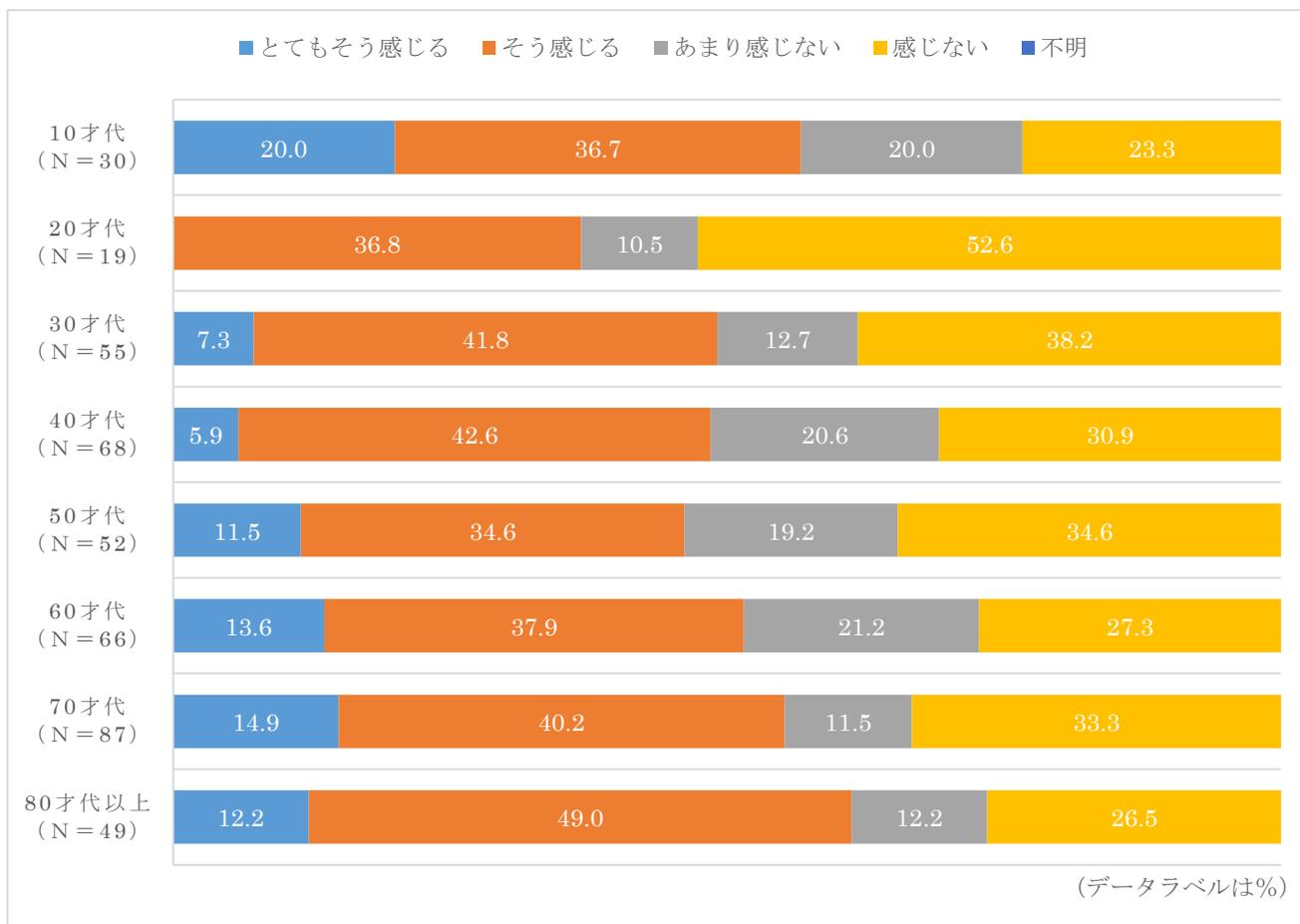
■ 【Q5-6】 ゆっくりくつろげた。 <SA>

		Q5-5-1	Q5-5-2	Q5-5-3	Q5-5-4
	全 体	とてもそ う感じる	そう感じる	あまり感 じない	感じない
件 数	428	48	173	70	137
%	100.0	11.2	40.4	16.4	32.0



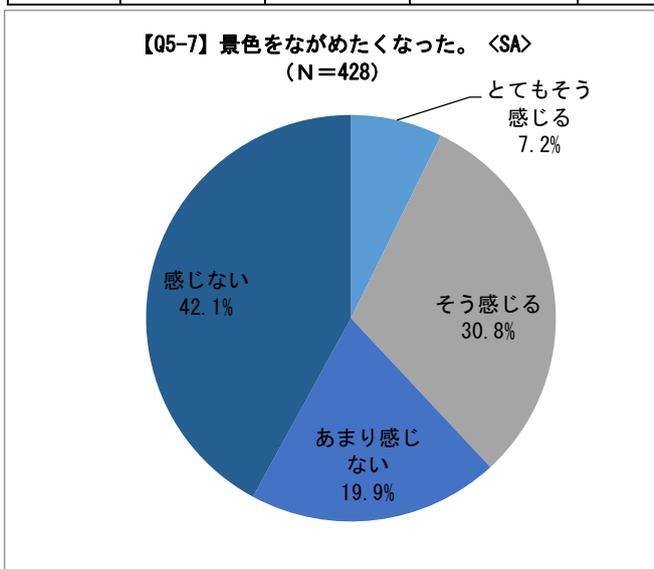
「ゆっくりくつろげた」の満足値は51.6%と半数を超えた。

年代別に満足値を見ると、80才代(61.2%)が一番高く、次いで10才代(56.7%)となった。



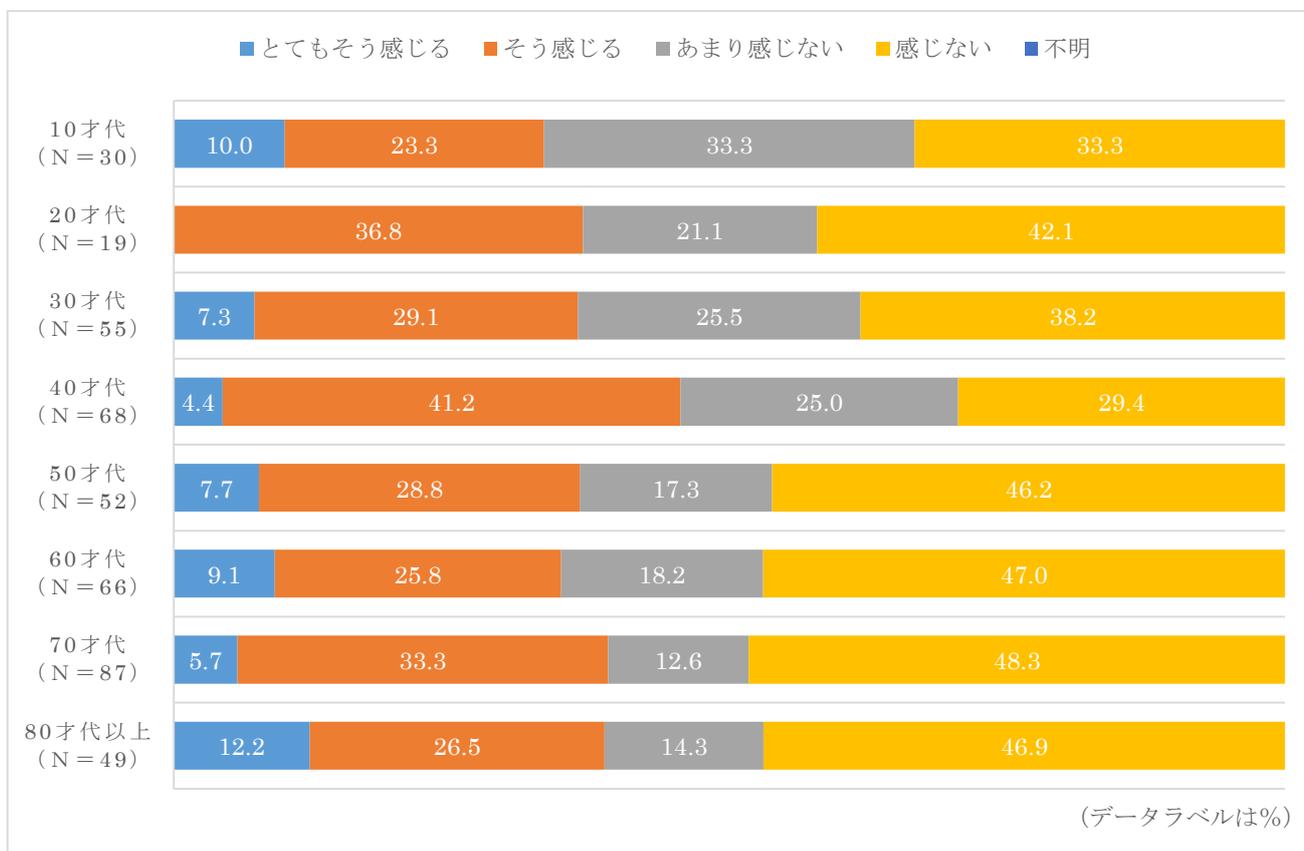
■ 【Q5-7】 景色を眺めたくなくなった。 <SA>

		Q5-5-1	Q5-5-2	Q5-5-3	Q5-5-4
	全 体	とてもそ う感じる	そう感じる	あまり感じ ない	感じない
件 数	428	31	132	85	180
%	100.0	7.2	30.8	19.9	42.1



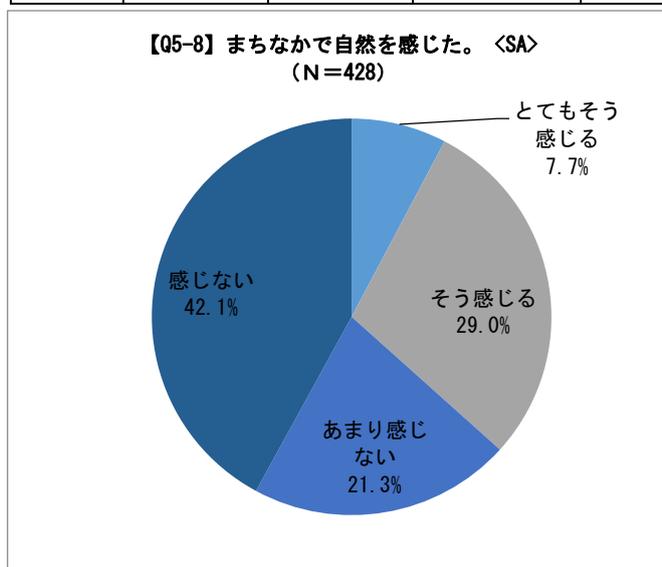
「景色を眺めたくなくなった」は「あまり感じない」「感じない」が62%を6割以上となった。

年代別に見ると10才代(66.6%)、60才代(65.2%)が「あまり感じない」「感じない」と回答している。



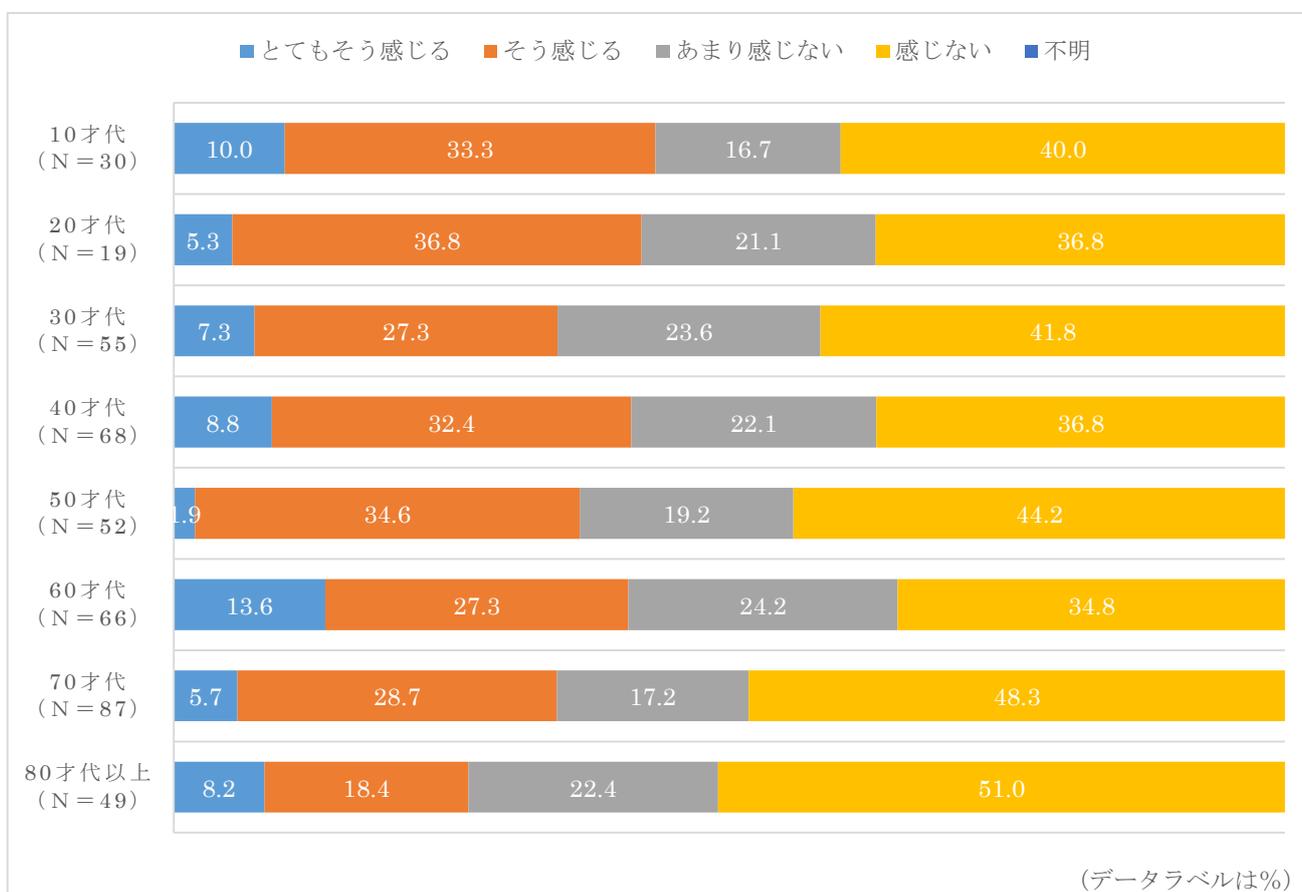
■ 【Q5-8】 まちなかで自然を感じた。〈SA〉

		Q5-5-1	Q5-5-2	Q5-5-3	Q5-5-4
	全 体	とてもそ う感じる	そう感じる	あまり感じ ない	感じない
件 数	428	33	124	91	180
%	100.0	7.7	29.0	21.3	42.1



「まちなかで自然を感じた」では「あまり感じない」「感じない」と回答した人が 63.4%と 10 項目のうち一番高くなった。

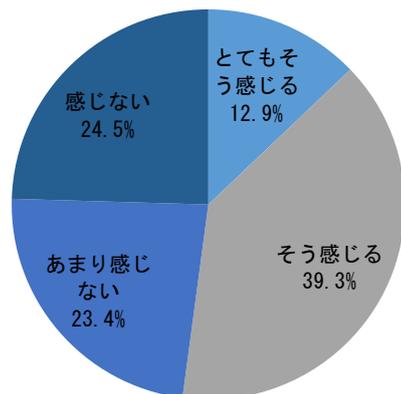
年代別に見ると、80 才代 (73.4%)、70 才代 (65.5%)、30 才代 (65.4%)、50 才代 (63.4%) が「あまり感じない」「感じない」と回答している。



■ 【Q5-9】 人のあたたかさを感じた。〈SA〉

		Q5-5-1	Q5-5-2	Q5-5-3	Q5-5-4
	全 体	とてもそ う感じる	そう感じる	あまり感じ ない	感じない
件 数	428	55	168	100	105
%	100.0	12.9	39.3	23.4	24.5

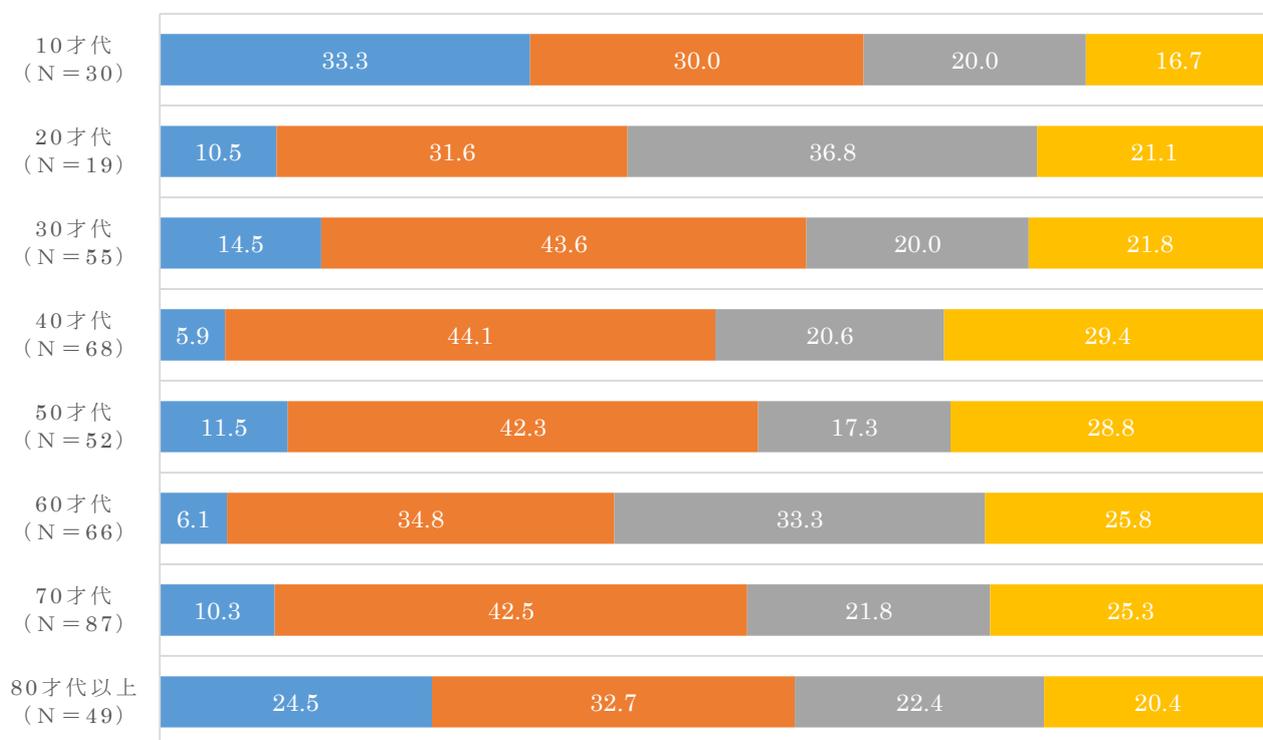
【Q5-9】 人のあたたかさを感じた。〈SA〉
(N=428)



「人のあたたかさを感じた」の満足値は52.2%と半数を超えた。

年代別に満足値を見ると、10才代(63.3%)が一番高く、次いで80才代(57.2%)となった。一方で、20才代(42.1%)、60才代(40.9%)と4割以下となった。

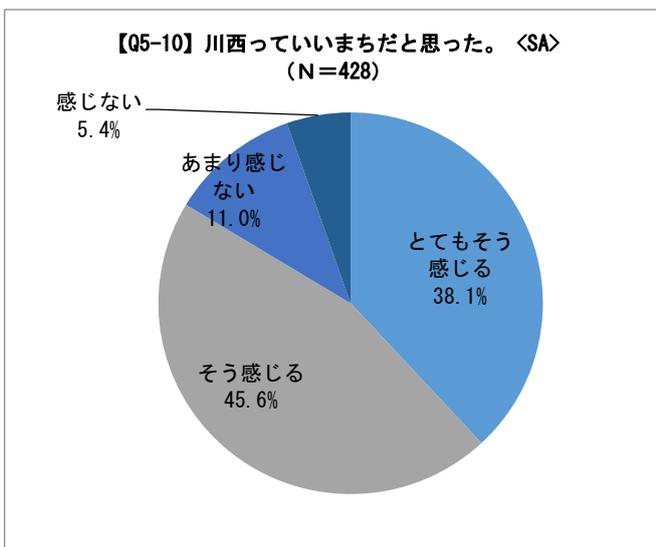
■ とてもそう感じる ■ そう感じる ■ あまり感じない ■ 感じない ■ 不明



(データラベルは%)

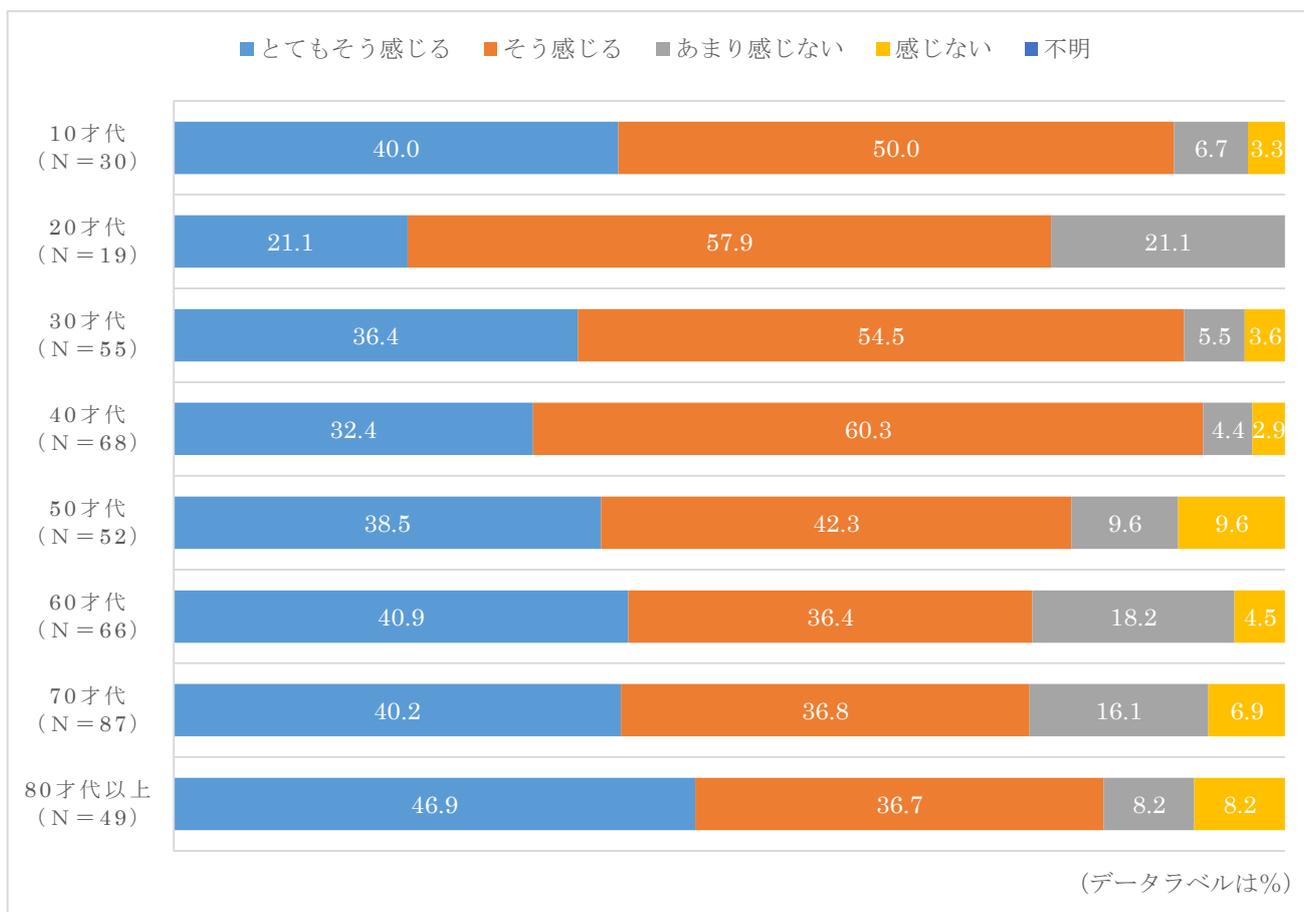
■ 【Q5-10】 川西っていいまちだと思った。 <SA>

		Q5-5-1	Q5-5-2	Q5-5-3	Q5-5-4
	全 体	とてもそ う感じる	そう感じる	あまり感じ ない	感じない
件 数	428	163	195	47	23
%	100.0	38.1	45.6	11.0	5.4



「川西っていいまちだと思った」の満足値は83.7%と、10項目の中で一番高く実に8割以上の方が「とてもそう感じる」「そう感じる」と回答した。

年代別に満足値を見ると、40才代(92.7%)が一番高く、次いで30才代(90.9%)と9割以上となった。



■まちなかの通信簿

Q5で得られた中心市街地の来街者の実感や感覚などを数値化するために「まちなかの通信簿」と位置付けて、各項目の得点率を100点満点換算でスコア化した。前半5項目（レーダーチャート右半分）は動的な事象（アクティビティや実際の行為）、後半5項目（同左半分）は静的な事象（気分や感情など）を評価指標とした。

【全体】

n=428

たくさん歩いた	51
知り合いや友人に出会った	32
なんだかワクワクした	38
いいお店や場所をみつけた	42
買い物や食事を楽しんだ	50
ゆっくりくつろげた	44
景色を眺めたくなった	34
まちなかで自然を感じた	34
人のあたたかさを感じた	47
川西っていいまちだと思った	72

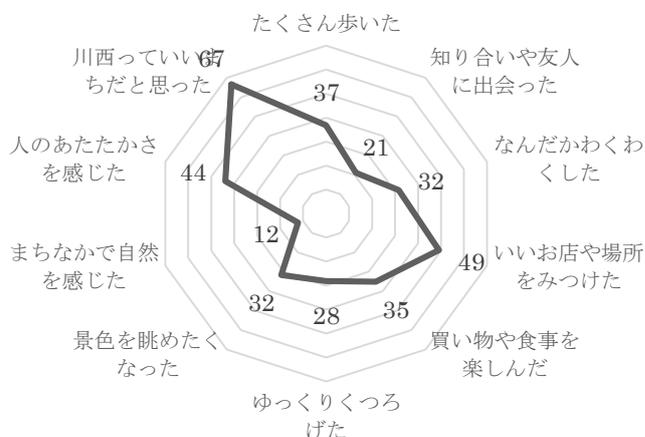
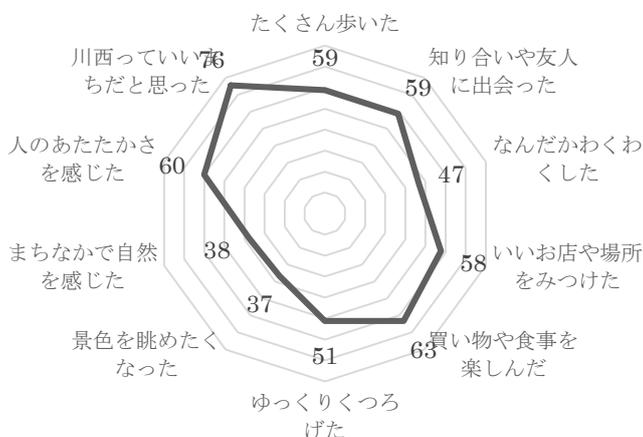


◎とてもそう感じる＝3点 ○感じる＝2点 △あまり感じない＝1点 ×感じない＝0点として集計。母数はサンプル全員の満点値（ $n \times 3$ 点）として100点満点換算としている。

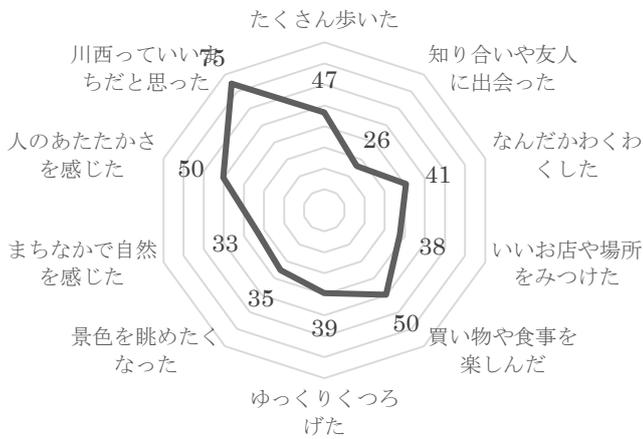
先の分析にもあるように「川西っていいまちだと思った」のスコアが72点と突出している他は、30点代～50点代にとどまっている。これをベースに各年代との波形の違いもあわせて以下に示す。

【10才代】 n=30

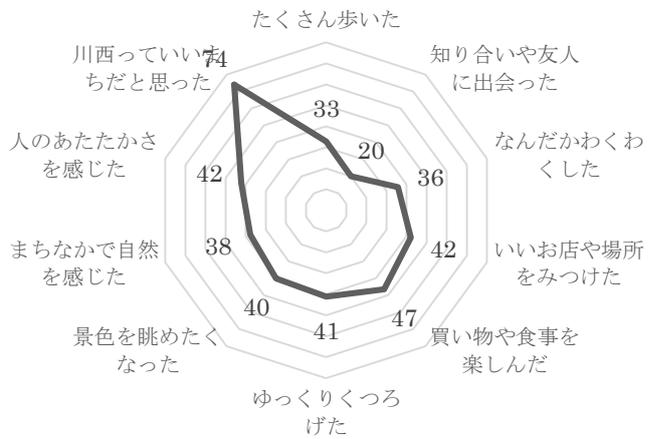
【20才代】 n=19



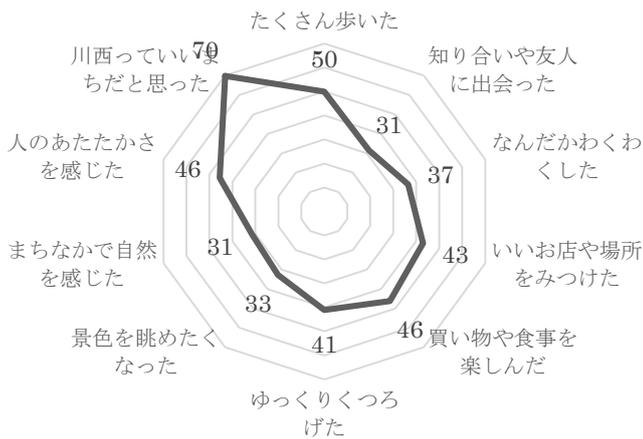
【30 才代】 n=55



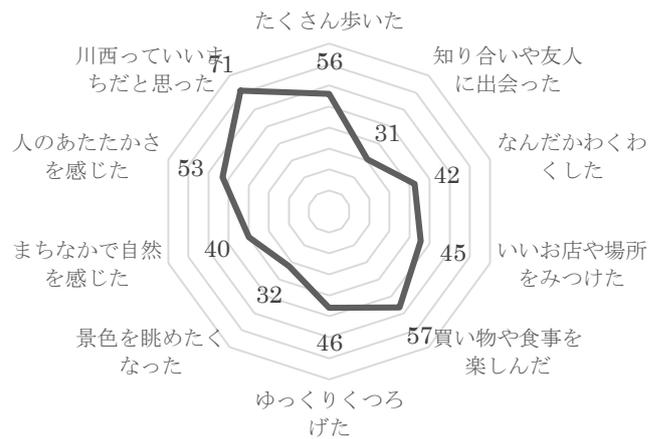
【40 才代】 n=68



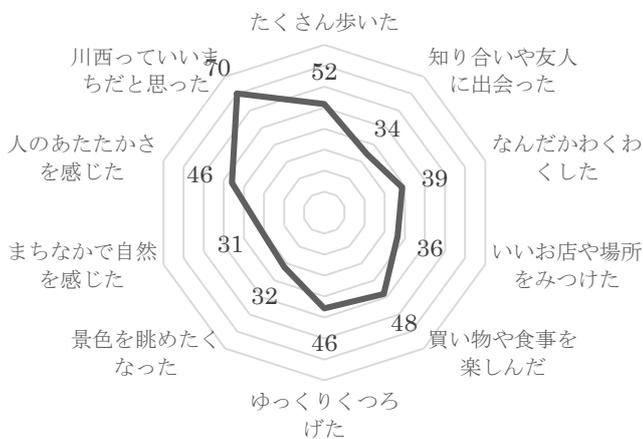
【50 才代】 n=52



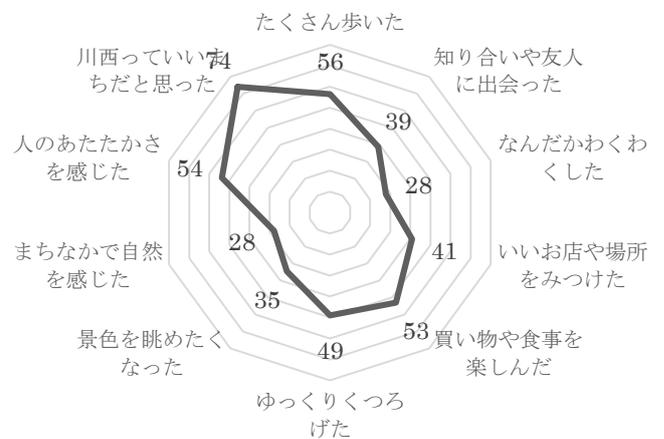
【60 才代】 n=66



【70 才代】 n=87



【80 才代以上】 n=49



【4】調査分析と提案

休日の滞留時間は目標達成

中心市街地活性化基本計画に掲げた数値目標「来街者の平均滞留時間の増加」については、目標値 2.42 時間に対して、今年度、休日は 2.46 時間と達成しているものの、平日は 2.16 時間にとどまっている。今回の調査日となった平日が 15 時頃から雨が降るなど天候の影響もあると思われる。

また今回調査は調査地点をこれまでの 4 地点から 9 地点に増やして、駅周辺だけでなく市役所前や幹線道路沿いなどでも実施した。また調査員を川西市の中心市街地で実際に活動をおこなうプレイヤーへと呼びかけ、事前説明会をおこないチーム作りをするなど、本調査結果が実際の活動に反映されるようなアクションリサーチとなることを目指した。実際に地元で活動する調査員にとって、ここで得られた知見や街の人たちの生の声から次なる活動の展開が生まれることに期待したい。

まちなか測る新たな指標

今回調査では、来街者のまちなかへの評価について新たな指標を設けた。目指すべきまちなか像について、「どんなことを中心市街地で感じてもらいたいか」という視点でタウンマネージャーらと議論し問 5 の設問を設けている。「なんだかわくわくした」「人のあたたかみを感じた」といった抽象的かつ感覚的な問いではあるが、ハード整備が完了した本市において、どんな今後のまちづくりの大切な成果指標となるだろう。「まちなかの通信簿」としてこれらのスコアを今後も意識してイベントや事業の企画を行うことで、川西市の中心市街地に一定の共通意識や、各事業の目指すべきビジョンを共有することができる。

例えば、まちなかでのイベント実施時に本調査を実施すれば「いいお店や場所をみつけた」や「買い物や食事を楽しんだ」「たくさん歩いた」といったスコアが高くなるだろう。しかし、それにとどまらず通信簿を意識しながら、企画立案時に「まちなかで自然を感じ」てもらおうことを目標に加えるのなら、メニューに近郊の野菜を使い地産地消を打ち出し、川西市の豊かな自然環境を感じるデザインを採用したり、「キセラ川西せせらぎ公園」もそのフィールドとして考えることができるかもしれない。他市との差別化も含めて、今後のにぎわいづくりにはこうした視点が必要となる。

普段づかいの公共空間活用を

今回の通信簿で 72 点の最高得点を記録した「川西っていいまちだと思った」という項目は、いわゆるシビックプライドともいえるが、これが何に起因しているのかは今回調査では明らかにならなかった。一方「ゆっくりくつろげた」「景色を眺めたくなった」といった静的な事象に対するスコアが低かった。前年度調査でも来街者から寄せられた「座れる場所が

欲しい」「休憩できる場所や雰囲気」といった要望とあわせて、まちなかや駅前に滞留する仕掛けがこうしたスコアにつながるだろう。

「キセラ川西せせらぎ公園」の環境志向な親子でくつろげナチュラルな空間という世界観を、駅前空間（ペDESTリアンデッキ）にもモデル的に表出させることで、中心市街地としての一体感も生まれるだろう。ペDESTリアンデッキをはじめ、先行して「藤ノ木さんかく広場」ですすすめられている公共空間活用は、今後の中心市街地活性化の鍵となるだろう。

イベントとしての利用についてこれまでの制限を緩和する動きもあるが、大切なのは日常的にどう使うかという「普段づかい」の視点である。座りたくなるベンチや、ゆっくり空を眺めたくなる空間演出、知らない誰かにも挨拶したくなる雰囲気づくりなど、小さくても気の効いた空間演出が求められている。